

仏教に関する実態把握調査（2024年度）報告書

～お墓・納骨・葬儀・復興支援 等～

2025年3月31日

ver. 2.1

調査概要

調査概要	...	3
回答者プロフィール 基本属性	...	4
自身の菩提寺の有無（スクリーニング結果より）	...	5
菩提寺との関わり（スクリーニング結果より）	...	6

調査結果

1. 菩提寺について

1. 菩提寺への満足度	...	9
2. 菩提寺住職のイメージ	...	10
3. 住職に期待すること	...	11
4. 菩提寺が発信している情報	...	12
5. 寺院の情報を調べる方法	...	13
6. 宗教知識を取得する方法	...	14

2. 葬儀・法要について

1. 執り行いたい葬儀形式	...	16
2. 執り行うべき法要	...	17
3. 葬儀や法要についての不安	...	18
4. 葬儀について調べる方法	...	19

3. お墓の移動について

1. お墓の所在地	...	21
2. お墓の移動意向	...	22
3. 移動を希望するお墓	...	23
4. お墓の移動理由と移動元	...	24

4. 合祀・合葬について

1. 遺骨に対する思い	...	26
2. 分骨に対する思い	...	27
3. 合祀に対する抵抗感	...	28
4. 合祀墓の購入意向	...	29
5. 合葬に対する抵抗感	...	30
6. 合葬墓の購入意向	...	31

5. お寺の復興支援について

1. お寺の復興資金の集め方	...	33
2. お寺のクラウドファンディング	...	34
3. 被災した宗教施設への公的資金投入①	...	35
4. 被災した宗教施設への公的資金投入②	...	36
5. 公的資金での復興支援と「政教分離」	...	37
6. お寺で取り組むべき社会貢献活動	...	38

6. 仏教寺院における女性活躍について

1. 仏教寺院における女性活躍	...	40
2. 女性が仏教寺院の長になること	...	41
3. 仏教寺院での女性活躍の場	...	42

7. お寺を取り巻く環境（AI倫理、拝観料）

1. 僧侶とAIは悩みを解決してくれるか	...	44
2. 宗教界のAI倫理策定への関与	...	45
3. 拝観料の納得性	...	46
4. お寺の収入を増やすために必要と思うこと	...	47

照会先	...	48
-----	-----	----

★菩提寺…葬儀や法事を執行するなど、お付き合いのある寺院を指します。

調査概要

ハッチングについて

WB前n=30以上の場合

[比率の差]

	全体+10% イト
	全体 +5% イト
	全体 -5% イト
	全体-10% イト

- 調査目的 :

近年の「菩提寺」「寺院」との関わり方や、「葬儀」「納骨・遺骨」への考え方に加え、「災害復興」「女性の関与」「AI」などの関わりについても把握し、今後の寺院としての在り方・取り組みなどにおける基礎資料として活用する。
- 調査対象 :

インターネット調査会社モニタ 20～79歳の男女
- 調査地域 :

全国
- 調査方法 :

インターネットリサーチ
- 調査時期 :

【事前調査】2024年12月19日（木）～12月20日（金）
【本調査】 2024年12月19日（木）～12月20日（金）
- 有効回答数 :

【事前調査】10,000サンプル ※人口動態で呼集
【本調査】 6,192サンプル（菩提寺有り：3,720サンプル／菩提寺無し：2,472サンプル）

WB後	都心（一都三県、二府二県、愛知）												
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	合計
菩提寺あり	89	107	147	157	172	177	63	82	113	122	165	198	1,592
菩提寺なし	140	133	167	163	132	119	138	156	206	205	153	163	1,875

	地方												
	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	男性70代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	女性70代	合計
菩提寺あり	67	115	162	141	155	160	93	100	141	134	140	158	1,566
菩提寺なし	101	114	129	95	56	48	100	126	146	97	76	71	1,159

- 調査主体 :

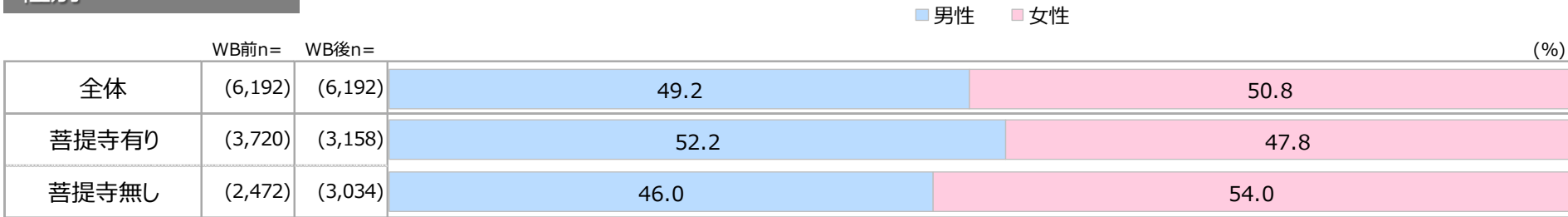
公益財団法人 全日本仏教会
大和証券株式会社
- 出典の記載について :

コンテンツを利用する際には出典を記載してください。
出典の記載方法は以下の通りです。
【出典記載例】
出典：「仏教に関する実態把握調査（2024年度）」（公益財団法人全日本仏教会・大和証券株式会社）

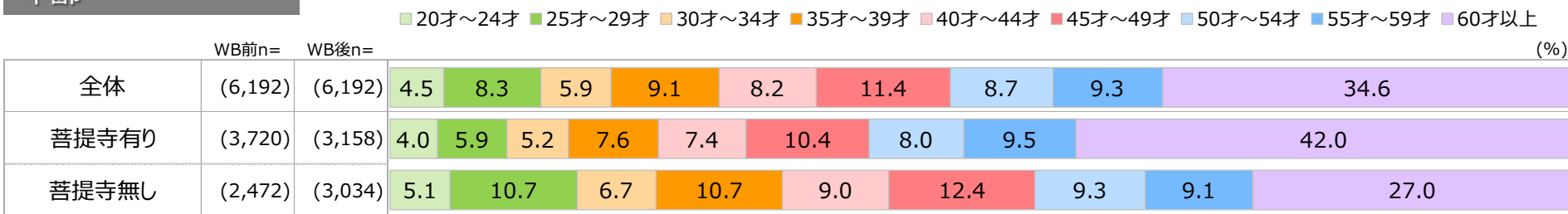
■ウエイトバック（WB）について

今回の本調査について、アンケート回答者の割合が事前調査で得られた各性別×年代の出現率と同じになるようにウエイトバック係数をかけて集計されています。

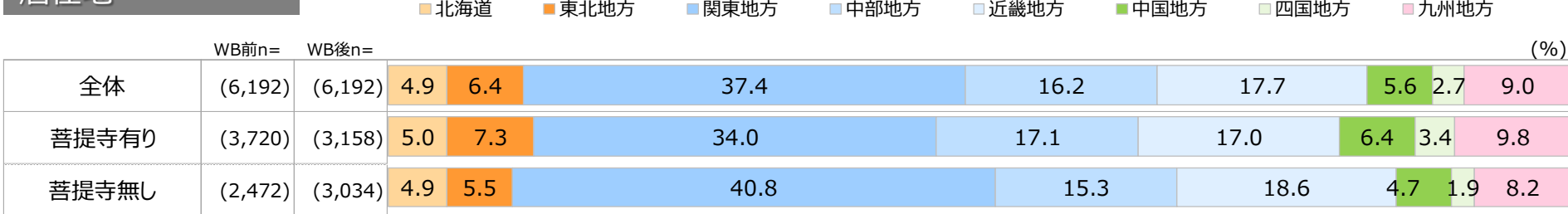
性別



年齢



居住地



自身の菩提寺の有無（スクリーニング結果より）

自身の菩提寺の所在地（SQ4）

※回答者：全員（事前調査10,000人）

■ 居住している場所と同じ都道府県内にある ■ 居住している場所と違う都道府県にある
■ 菩提寺はない □ 菩提寺があるかどうか知らない (%)

		n=				
全体		(10,000)	39.1	12.2	25.1	23.5
性・年代別	男性20代	(667)	30.6	11.1	12.7	45.6
	男性30代	(766)	39.6	8.9	14.6	36.9
	男性40代	(991)	39.5	11.7	21.5	27.3
	男性50代	(892)	41.4	12.2	27.2	19.2
	男性60代	(821)	46.2	17.3	27.9	8.6
	男性70代	(804)	46.4	20.6	28.7	4.2
	女性20代	(643)	30.5	10.0	15.6	44.0
	女性30代	(745)	32.1	7.7	20.8	39.5
	女性40代	(973)	33.5	8.4	25.2	32.9
	女性50代	(894)	36.9	9.1	33.0	21.0
	女性60代	(862)	43.9	13.3	32.9	9.9
	女性70代	(942)	44.7	15.9	34.2	5.2
地方	北海道地方	(503)	49.7	3.4	26.8	20.1
	東北地方	(586)	54.6	8.7	16.0	20.6
	関東地方	(3,747)	28.8	17.5	30.4	23.4
	中部地方	(1,676)	48.4	7.9	19.9	23.7
	近畿地方	(1,848)	35.0	12.8	27.1	25.1
	中国地方	(511)	49.9	7.6	18.6	23.9
	四国地方	(291)	55.7	7.2	16.2	21.0
	九州地方	(838)	46.1	8.6	20.0	25.3

自身と菩提寺の関係（SQ5）

※回答者：菩提寺が有る人（事前調査）

■ 自分が中心となって関わっている

□ 自分は中心ではない、中心となって関わっている者と同居

■ 自分は中心ではない、中心となって関わっている者と非同居

(%)

全体		n=			
		(5,133)	28.2	25.9	45.8
性・年代別	男性20代	(278)	16.2	34.2	49.6
	男性30代	(371)	22.6	28.0	49.3
	男性40代	(507)	21.7	25.4	52.9
	男性50代	(478)	32.2	22.2	45.6
	男性60代	(521)	50.7	11.9	37.4
	男性70代	(539)	64.6	7.6	27.8
	女性20代	(260)	8.5	30.4	61.2
	女性30代	(296)	7.1	28.0	64.9
	女性40代	(408)	8.1	28.9	63.0
	女性50代	(411)	12.7	30.9	56.4
	女性60代	(493)	24.5	36.5	38.9
	女性70代	(571)	34.2	36.3	29.6
地方	北海道地方	(267)	25.8	23.6	50.6
	東北地方	(371)	24.0	31.8	44.2
	関東地方	(1,732)	29.4	21.8	48.8
	中部地方	(945)	25.8	31.2	43.0
	近畿地方	(883)	29.7	24.3	46.0
	中国地方	(294)	29.3	26.5	44.2
	四国地方	(183)	26.8	32.8	40.4
	九州地方	(458)	30.8	27.1	42.1

調査結果

1. 菩提寺について

1-1. 菩提寺への満足度

菩提寺への満足度は39.8%。40・50代は菩提寺への満足度は低い傾向。

- 地方_60代以上の満足度はやや高いが、40・50代では都心、地方にかかわらず満足度は低い。
- 仏教への関心別にみると、関心ありの回答者は菩提寺への満足度が高い。菩提寺との関与別でみると自身が中心との回答者は満足度が高い。
- 菩提寺や仏教との接点が高いほど菩提寺への満足度が高まることが想定される。

菩提寺や菩提寺住職の総合満足度（Q40）

※回答者：菩提寺が有る人

		WB後n=	十分満足である やや満足している どちらともいえない やや不満がある かなり不満ある				(%)	満足計
全体		(3,158)	11.0	28.9	51.8	4.9	3.4	39.8
都心・地方 × 年代別	菩提寺有り_都心_20・30代	(341)	9.4	35.5	48.5	3.2	3.4	44.9
	菩提寺有り_都心_40・50代	(538)	9.2	22.6	58.6	6.3	3.3	31.8
	菩提寺有り_都心_60代以上	(713)	11.8	31.4	49.7	3.0	4.1	43.2
	菩提寺有り_地方_20・30代	(376)	11.0	29.6	52.2	4.3	3.0	40.6
	菩提寺有り_地方_40・50代	(578)	10.1	23.7	57.1	5.6	3.6	33.8
	菩提寺有り_地方_60代以上	(612)	13.3	32.2	45.0	6.6	2.9	45.5
仏教への 関心別	関心あり	(719)	21.7	41.9	30.5	4.1		63.6
	中庸	(1,047)	8.8	29.0	56.9	3.9		37.8
	関心なし	(1,392)	7.1	22.1	59.0	6.1	5.7	29.1
菩提寺との 関与別	自身が中心	(868)	16.9	37.1	38.5	4.6	2.8	54.1
	同居者が中心	(782)	12.6	30.0	48.5	5.1	3.8	42.6
	非同居者が中心	(1,508)	6.7	23.5	61.2	5.0	3.6	30.2

2%未満のスコアは非表示

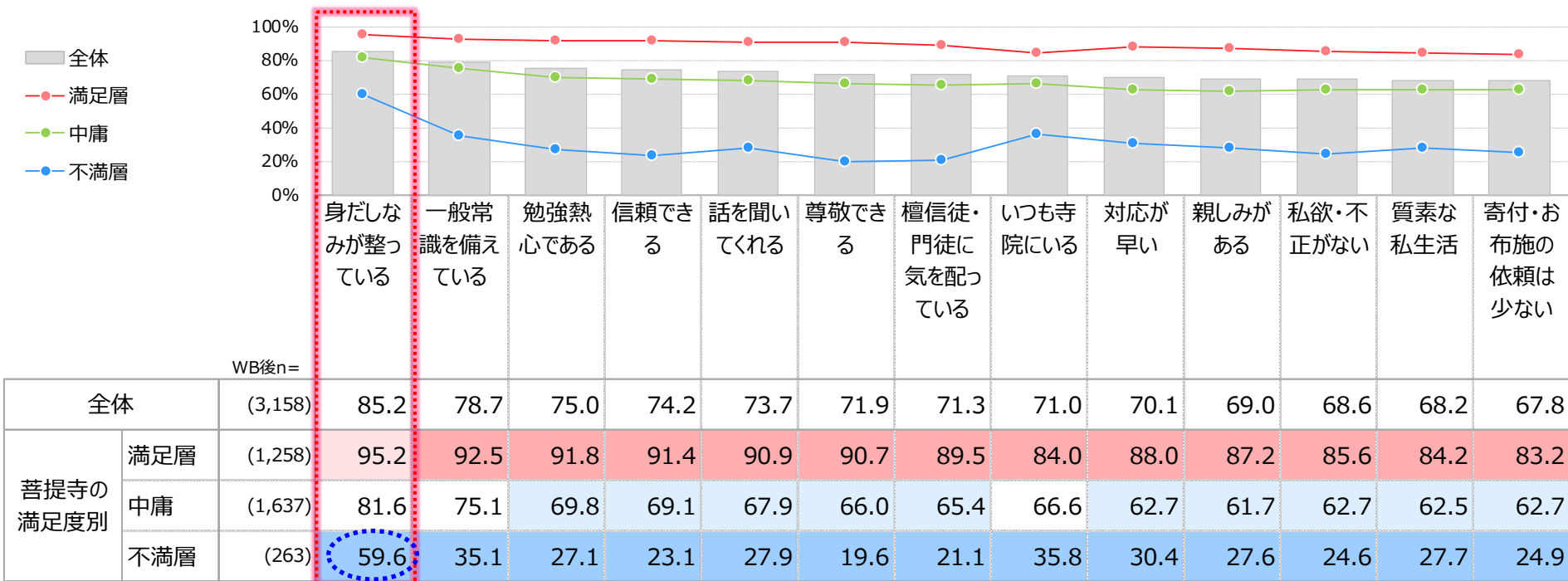
1-2. 菩提寺住職のイメージ

菩提寺住職に対するイメージは「身だしなみが整っている」「一般常識を備えている」「勉強熱心」が上位に挙がる。

- 菩提寺への満足度が高いほど、住職に好意的なイメージを持つ傾向が高い。
- 特に「身だしなみが整っている」については、菩提寺不満足層においても59.6%がイメージしていることより相当強いイメージと判断できる。
- 逆に菩提寺住職の「身だしなみが整っていない姿」はかなりのマイナスイメージに働くことが容易に想定できる。

菩提寺住職に対するイメージ（Q42）

※回答者：菩提寺が有る人



※全体スコアの降順にソート

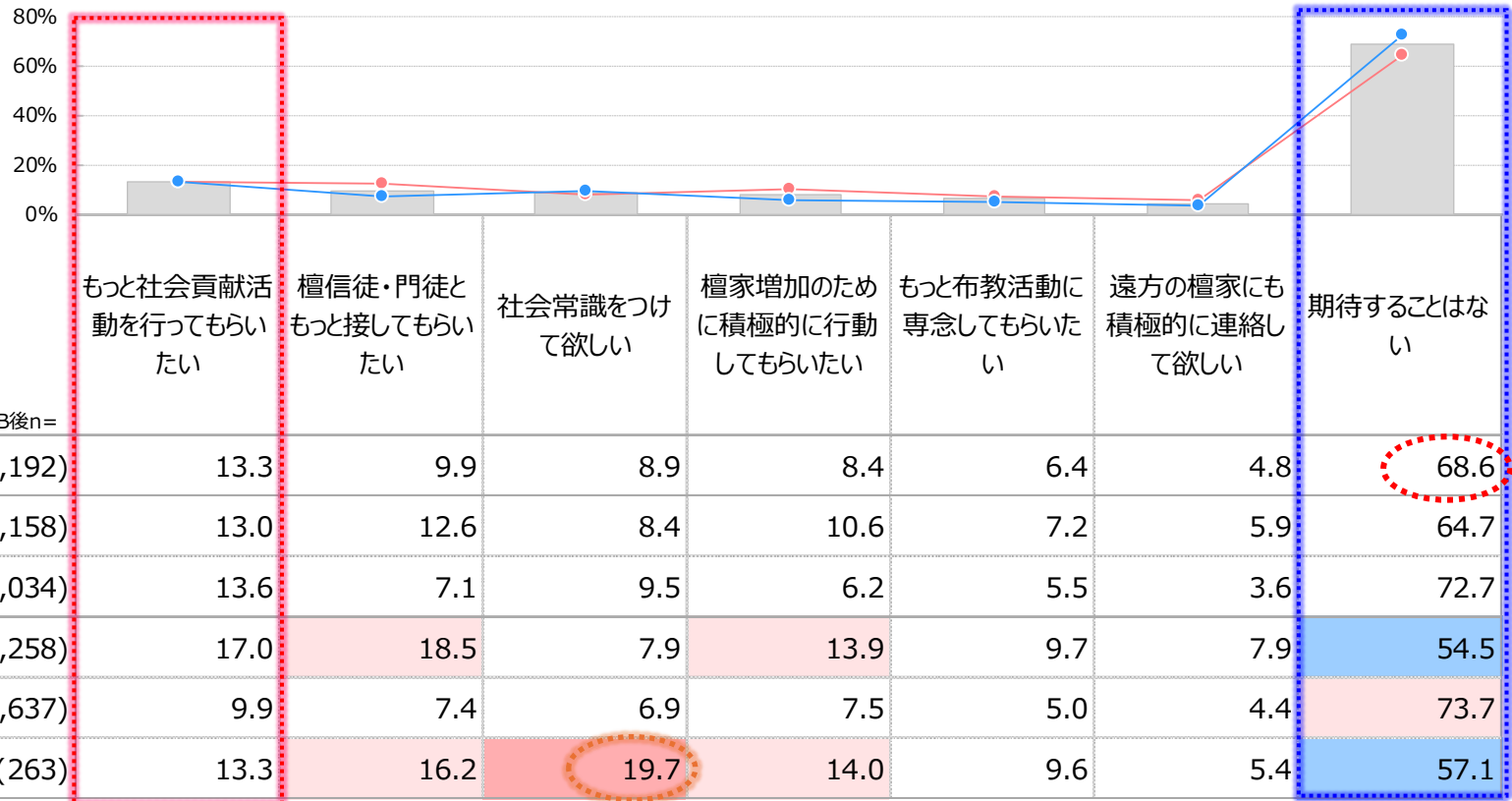
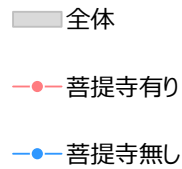
1-3.住職に期待すること

仏教寺院の住職には「社会貢献活動」を求める声が多いが、「期待することはない」と考える人が68.6%と高く浮かび上がった。

- 菩提寺に満足している層では「檀信徒・門徒ともっと接してもらいたい」「檀家増加のために積極的に行動してもらいたい」など僧侶と檀信徒・門徒との距離を縮めて欲しいとの思いが窺える。
- 菩提寺に不満足な層では「社会常識をつけて欲しい」という声上がる。期待というよりは不満の声と思われる。

仏教寺院の住職に期待すること（Q43）

※回答者：全員



※全体スコアの降順にソート

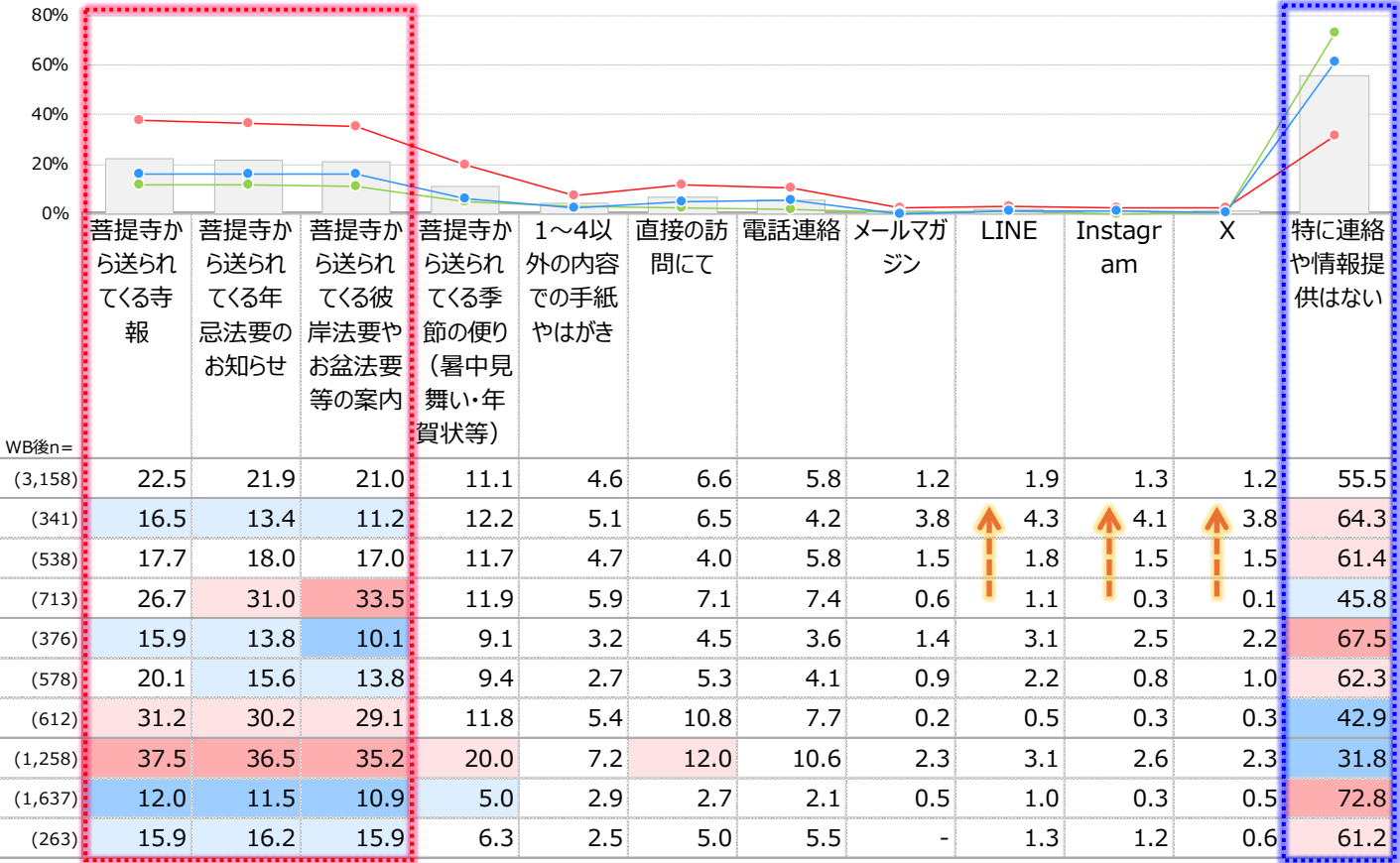
1-4. 菩提寺が発信している情報

菩提寺から発信される情報は「寺報」「年忌法要のお知らせ」「彼岸法要のお知らせ」が上位で手紙やはがきが中心。

- 菩提寺に満足している層では「特に情報提供、連絡がない」のは3割に留まるが、都心も地方も20・30代、40・50代では6割以上が「特に連絡や情報提供がない」と回答している。若い世代へ連絡・情報提供が満足度を高めるためにも重要。
- SNSに未対応なお寺も数多いと想定される。若い世代は菩提寺の情報をSNSから取得している傾向も読み取れる。これからはSNS活用が必要であろう。

菩提寺からの発信される連絡や情報（Q39）

※回答者：菩提寺が有る人



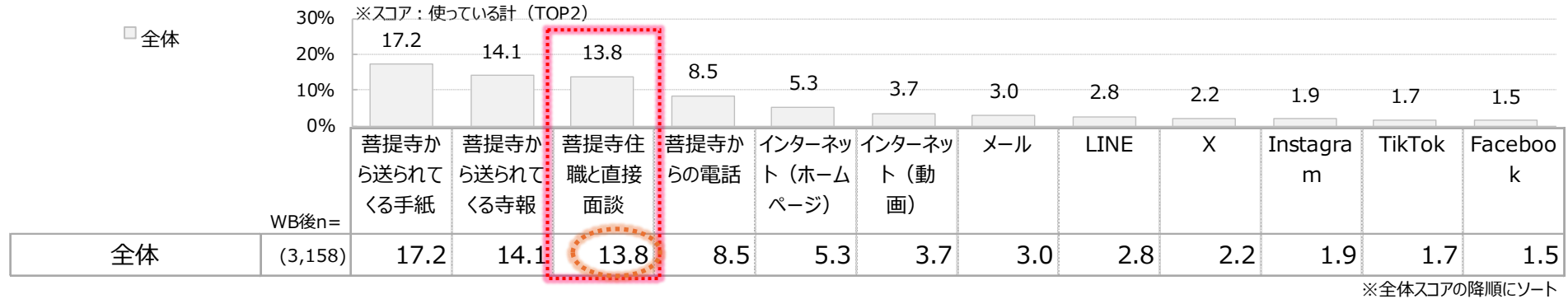
1-5.寺院の情報を調べる方法

能動的に菩提寺の情報を得る媒体としては「手紙」「寺報」が高く、加えて「住職と直接面談」も高い。

- 菩提寺について自ら情報を取得する先として「菩提寺住職と直接面談」が13.8%と高いことが特筆すべき事項。
- 規模の大きなお寺ではInstagram、LINE、XなどのSNSツールの利用率は一定レベル以上である。一般寺院でも活用すべきツールと思われる。
- 一方で、規模の大きなお寺では観光ガイドブックや旅行番組など旧来のツールも比率が高い。

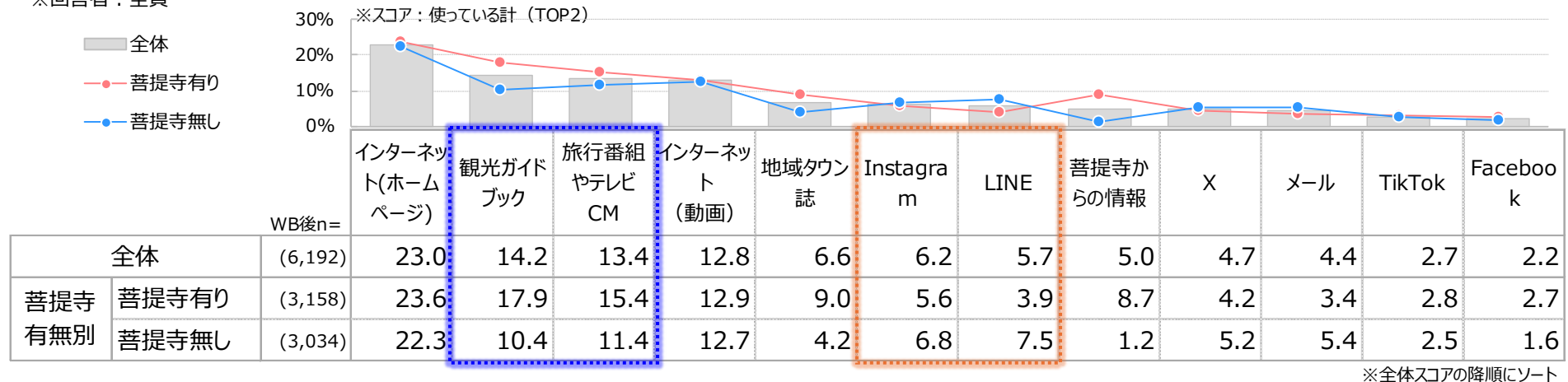
菩提寺の情報をどのように取得しているか (Q7)

※回答者：菩提寺が有る人



規模の大きいお寺の情報をどのように取得しているか (Q8)

※回答者：全員



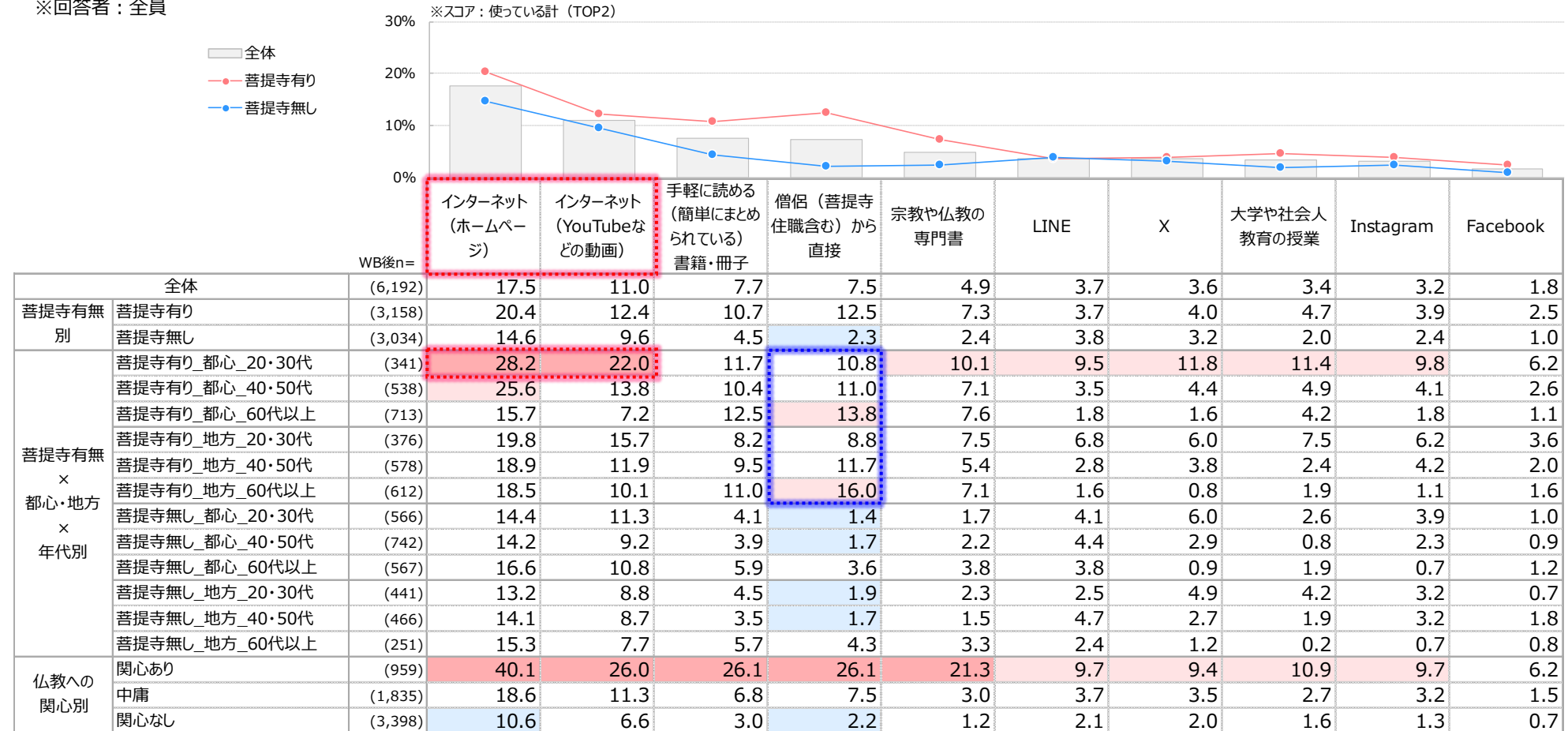
1-6.宗教知識を取得する方法

宗教知識を取得する際に「インターネット」を使う比率が高い。菩提寺有り層では手軽に読める書籍・冊子の比率も10%程度ある。

- 菩提寺有り層の20・30代はインターネットからの情報取得の比率が高い。またLINE、X、Instagramからの情報取得も1割程度ある。
- 菩提寺有り層（20・30代除く）では僧侶から直接宗教知識を得る人が1割を超えている。
- 手軽に読める書籍・冊子なども含め、年代に応じた様々な媒体（入口）を用意して宗教知識を提供するなど裾野を広げることが必要と思われる。

宗教全般知識をどのように取得してますか（Q9）

※回答者：全員



※全体スコアの降順にソート

2. 葬儀・法要について

2-1.執り行いたい葬儀形式

自身も家族も「普通の葬式」を希望する比率が高い。若い世代ほど「普通の葬式」を希望している。

- 菩提寺有り、無しに関わらず、60代以上になると「普通の葬式」の希望が減少し、「一日の葬式」、「火葬のみ」が増加する傾向がある。
- 「お坊さんと呼ばない火葬のみの葬式（いわゆる直葬）」に関して、自身の葬儀では菩提寺無し層30・40代で33.9%、60代以上で33.1%、ご家族の葬儀では菩提寺無し層30・40代で19.9%、60代以上で20.9%と高い比率。

自身/家族の葬儀はどのように執り行いたいか（Q44）

※回答者：全員

		WB後n=	普通の葬式	家族のみ	家族・親族	人・家族・友人・親知	一日の葬式	家族のみ	家族・親族	人・家族・友人・親知	火葬のみ	お坊さんと呼ばれる	お坊さんと呼ばない
ご自身の葬儀													
全体		(6,192)	49.4	31.1	10.4	7.8	22.4	13.6	5.6	3.1	27.5	4.3	23.2
菩提寺有り × 無	菩提寺有り_20・30代	(716)	66.0	33.0	17.0	16.0	17.5	9.1	5.6	2.8	15.7	3.4	12.3
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	51.9	33.2	10.2	8.5	22.5	13.8	5.7	3.0	25.0	5.1	19.9
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	47.9	27.9	12.1	7.9	28.4	17.2	7.3	3.9	22.8	5.5	17.3
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	59.8	37.3	12.6	9.9	15.2	8.2	3.9	3.0	24.4	2.8	21.6
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	40.6	32.1	5.1	3.4	20.3	13.1	4.8	2.4	37.9	4.0	33.9
	菩提寺無し_60代以上	(819)	33.7	23.0	7.0	3.8	28.8	19.1	6.2	3.6	37.1	4.1	33.1
ご家族の葬儀													
全体		(6,192)	57.7	32.3	14.2	11.2	26.2	13.7	7.4	5.2	15.3	3.0	12.2
菩提寺有り × 無	菩提寺有り_20・30代	(716)	73.0	31.8	22.7	18.4	18.9	9.7	6.3	2.9	7.4	2.0	5.4
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	64.0	34.3	15.4	14.4	24.5	12.4	7.5	4.7	10.5	3.6	7.0
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	55.3	28.3	16.0	11.0	32.2	16.9	9.0	6.3	11.5	3.7	7.9
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	66.2	37.6	16.3	12.3	18.3	9.0	5.0	4.3	14.7	2.0	12.6
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	50.1	35.6	8.5	6.1	25.9	13.3	7.1	5.6	23.2	3.3	19.9
	菩提寺無し_60代以上	(819)	40.2	25.3	8.1	6.8	35.5	19.8	8.9	6.8	23.7	2.8	20.9

執り行うべきと思う法要については「菩提寺の有り、無し」で大きな格差が生じている。

- 菩提寺有り層と無し層ではご家族の法要について「法要は必要ない」と考える比率に2倍以上の格差があることが分かる。
- 菩提寺無し層では「自身の法要は必要ない」と考える人の比率が高く、40・50代、60代以上では50%を超えている。

家族/自身の執り行うべきと思う法要（Q46）

※回答者：全員

		WB後n=	通 夜	葬 儀	初 七 日	4 9 日	1 周 忌	3 回 忌	7 回 忌	1 3 回 忌	必 そ 要 れ 以 上 も	必 法 要 要 な い は い
ご自身の法要について												
全体		(6,192)	41.2	54.2	26.8	30.1	28.9	20.0	13.9	8.9	2.3	39.5
年 代 別 菩 提 寺 有 無 ×	菩提寺有り_20・30代	(716)	56.4	63.6	30.8	40.8	38.0	25.0	16.7	10.8	2.5	25.5
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	46.5	60.9	32.5	35.6	31.5	22.7	16.5	10.8	2.0	33.2
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	49.2	68.5	42.5	43.4	42.4	31.8	22.6	14.6	3.6	27.1
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	41.3	47.7	16.8	22.1	23.0	14.1	9.8	6.4	2.4	44.8
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	27.6	39.6	16.7	18.8	18.0	11.2	7.4	5.2	1.9	54.7
	菩提寺無し_60代以上	(819)	27.9	43.5	17.1	18.4	18.9	12.9	8.2	3.7	0.8	51.3
ご家族の法要について												
全体		(6,192)	54.0	66.6	38.5	43.4	42.7	32.1	23.2	16.4	4.5	25.1
年 代 別 菩 提 寺 有 無 ×	菩提寺有り_20・30代	(716)	68.0	73.3	44.2	53.6	53.6	40.2	29.9	20.4	5.5	14.7
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	63.1	76.2	49.9	54.0	50.3	40.7	30.6	22.5	6.1	15.1
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	59.0	78.4	52.1	53.9	53.8	42.1	30.5	21.7	6.1	16.1
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	54.3	60.0	27.1	36.3	35.5	25.6	17.2	12.0	3.4	31.9
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	42.6	54.8	27.7	32.2	32.0	21.5	16.0	12.1	3.2	36.0
	菩提寺無し_60代以上	(819)	37.4	54.2	25.5	28.1	29.4	20.5	13.7	7.8	1.7	38.4

2-3.葬儀や法要についての不安

葬儀・法要に対し、「費用」「お布施金額」を中心に不安ごとは多岐にわたることが分かる。

- 葬儀・法要の不安内容は「費用」「お布施の金額」「葬儀や法要に何が必要か分からない」「仏壇の飾り方」「声掛けの対象」「相談先」が5割超と高い。
- 菩提寺有り層も無し層も20・30代は不安の比率が高い傾向にある。

葬儀や法要で不安なこと（Q47）

※回答者：全員

※スコア：あてはまる計（TOP2）

(%)

		WB後 n=	費用が分 からない	お布施の金 額が分から ない	葬儀や法 要に何が必 要か分から ない	仏壇の飾り 方が分から ない	どこまで声 をかけてい いか分から ない	どこに相談 して良いか 分からない	自分の家 系の宗派な どが分から ない	コロナ対応 をどうしたら 良いか分か らない	その他
全体		(6,192)	64.5	62.9	57.9	56.4	55.0	51.7	37.3	33.6	5.8
× 年 代 別 菩 提 寺 有 無	菩提寺有り_20・30代	(716)	72.0	71.1	69.2	68.9	69.4	65.3	48.1	41.9	7.5
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	68.1	66.7	64.3	60.6	60.8	54.6	32.5	36.5	5.7
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	54.1	52.8	41.3	42.1	39.7	33.9	16.3	27.4	3.8
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	71.2	69.5	66.8	65.7	65.2	64.4	56.1	36.9	6.2
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	67.3	65.3	62.5	58.6	57.6	56.6	48.4	33.8	7.6
	菩提寺無し_60代以上	(819)	57.4	55.3	48.5	48.2	42.8	41.6	29.3	28.6	4.6

※全体スコアの降順にソート

2-4.葬儀について調べる方法

どこに相談して良いか分からない人が、葬儀手配が必要になった時に調べる先としては「親族に相談する」「Webサイトで調べる」が上位。

- 家制度が崩壊したと言われている中でも「親族への相談」が一番高いことは興味深い。
- 菩提寺有り60代以上では「菩提寺に相談する」が24.8%と高いが、残念ながら「親族への相談」31.8%よりも比率は下回る。

葬儀の手配が必要になった場合に調べる方法（Q48）

※回答者：相談先がない人（Q47：どこに相談して良いか分からない）

			(%)											
		WB後 n=	親族に 相談す る	Webサ イトで調 べる	病院から あっせん される葬 儀会社 に連絡 する	役場・ 公共施 設に聞く	付き合 いのある 葬儀会 社に相 談する	SNSで 調べる	菩提寺 に相談 する	寺院(菩 提寺で はない) に相談 する	近所 の方へ相 談する	自身の 宗派の 総大本 山に相 談する	電話帳 で調べる	まだ何も 考えてい ない
全体		(3,201)	32.6	29.2	13.4	11.5	11.4	10.1	10.1	6.0	4.2	2.8	1.9	34.8
× 菩 提 寺 有 無 年 代 別	菩提寺有り_20・30代	(468)	38.3	31.1	11.7	12.5	15.5	14.2	19.0	11.7	6.9	5.5	2.7	29.5
	菩提寺有り_40・50代	(610)	36.8	27.6	13.8	9.8	14.3	9.9	19.9	7.5	5.4	4.7	3.1	28.9
	菩提寺有り_60代以上	(450)	31.8	21.4	14.4	11.8	21.8	5.9	24.8	6.6	3.9	2.5	2.1	25.3
	菩提寺無し_20・30代	(649)	34.8	31.5	12.6	11.1	4.5	12.4	0.0	4.2	4.1	3.0	1.0	44.8
	菩提寺無し_40・50代	(684)	27.2	34.1	13.2	11.5	5.5	9.6	0.0	2.8	3.2	0.5	1.4	40.0
	菩提寺無し_60代以上	(341)	24.7	25.3	15.5	13.8	11.8	7.4	0.0	4.9	1.0	0.6	0.9	36.1

※全体スコアの降順にソート

3. お墓の移動について

3-1.お墓の所在地

菩提寺無し層の都心居住者は「同じ都道府県にお墓がある」比率が低い。

- 菩提寺有り層の地方居住者は「同じ都道府県にお墓がある」比率が8割程度と高く、「お墓が無い・お墓があるか知らない人」比率も低い。
- 菩提寺無し層は「お墓が無い・お墓があるか知らない」比率も高く、将来お墓をどうするのか注視する必要がある。

家系のお墓の所在地（SQ6）

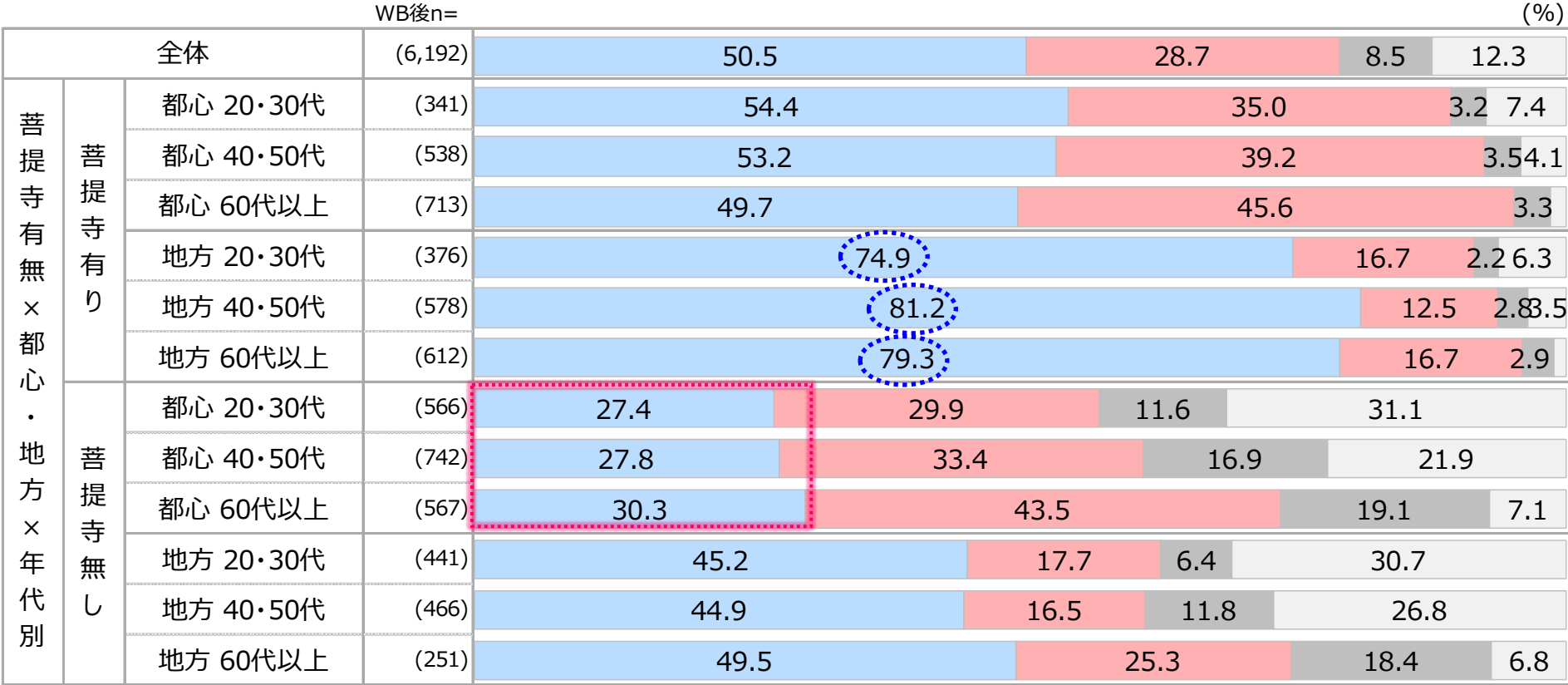
※回答者：全員

■ 居住している場所と
同じ都道府県内にある

■ 居住している場所と
違う都道府県にある

■ そういったお墓はない

■ そういったお墓がある
のかどうか知らない



3-2.お墓の移動意向

お墓を既に移動した人は5.3%、将来移動を希望している人は16.0%。

- 菩提寺無し層60代以上で、既にお墓を移した比率は地方で9.6%と1割近い。
- 逆にお墓を移したくない比率が高いのは、菩提寺有り層の都心居住の60代以上で42.8%、菩提寺有り層の地方居住の60代以上47.5%、菩提寺無し層の地方居住の60代以上44.6%。菩提寺有り、無し層ともに60代以上ではお墓を移したくない比率が高まる傾向が窺える。

お墓を今ある場所から他の場所に移したい意向（Q11）

※回答者：継承する墓がある人

		WB後n=	他の場所から今ある 場所に既に移した			移したい		移したくない		移したい 計
全体		(3,292)	5.3	7.3	8.7	31.3	11.5	36.0		16.0
菩提寺有 無別	菩提寺有り	(2,247)	4.9	8.3	9.4	28.7	11.8	36.9		17.7
	菩提寺無し	(1,045)	6.1	5.2	7.1	36.7	11.0	33.9		12.3
菩提寺有 無 × 都心・地方 × 年代別	菩提寺有り_都心_20・30代	(214)	7.7	12.2		36.6	19.3	22.4		19.9
	菩提寺有り_都心_40・50代	(364)	4.8	9.5	11.9	33.3	9.7	30.9		21.4
	菩提寺有り_都心_60代以上	(525)	5.2	9.7	7.9	23.1	11.3	42.8		17.6
	菩提寺有り_地方_20・30代	(233)	7.3	14.1		32.4	15.5	28.9		21.4
	菩提寺有り_地方_40・50代	(422)	4.3	10.1	8.4	33.6	9.2	34.4		18.5
	菩提寺有り_地方_60代以上	(488)	7.9	5.1	6.6	21.9	10.9	47.5		11.7
	菩提寺無し_都心_20・30代	(150)	6.4	7.4		29.9	20.1	34.4		9.3
	菩提寺無し_都心_40・50代	(251)	3.7	5.2	7.7	46.5	9.1	27.8		12.9
	菩提寺無し_都心_60代以上	(244)	7.9	5.0	7.8	32.3	9.2	37.9		12.8
	菩提寺無し_地方_20・30代	(126)	6.7	7.8	7.2	36.9	12.9	28.5		15.0
	菩提寺無し_地方_40・50代	(166)	4.3	6.8	6.1	40.0	8.9	33.8		13.0
	菩提寺無し_地方_60代以上	(107)	9.6	5.0	4.8	28.0	8.0	44.6		9.8

2%未満のスコアレベルは非表示

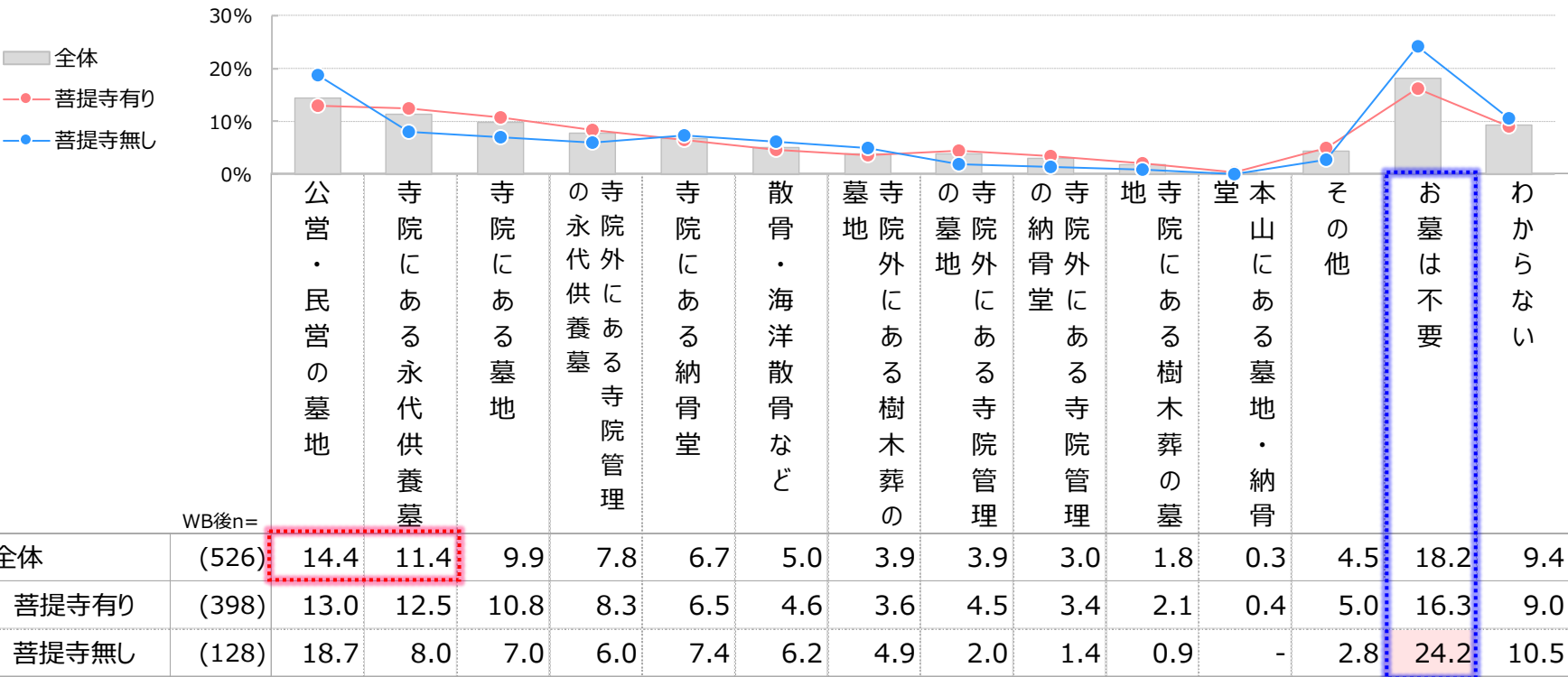
3-3.移動を希望するお墓

お墓の移動先として希望するのは「公営・民営の墓地」「寺院にある永代供養墓」が10%を超えているが偏った傾向は見受けられない。

- 移動希望先の墓地はこれといって比率が高いものはないことからお墓の形式ありきで移動先を決めているのではないことが想定される。
- 菩提寺無し層では「お墓は不要」との意識が24.2%と高いことは特筆すべき事項。

どのようなお墓に移動したいか (Q12)

※回答者：移動意向ある人



※全体スコアの降順にソート（上位5項目を抜粋）

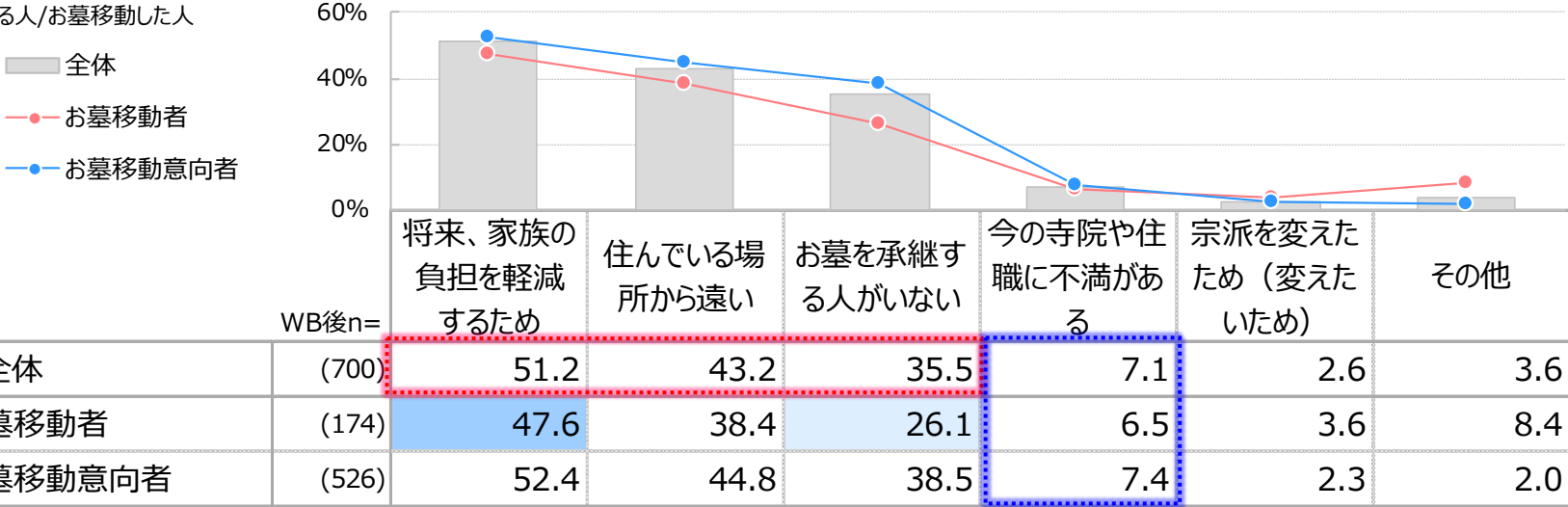
3-4.お墓の移動理由と移動元

お墓を移したい理由は「家族の負担軽減」51.2%、「住んでいる場所から遠い」43.2%、「継承する人がいない」35.5%。

- 「今の寺院や住職に不満がある」は7.1%とかなり低い水準である。しかし、檀信徒や門徒の満足度を高めても、「お墓との距離」や「家族の負担」というお墓を移す理由をカバーすることは難しいとも読み取れる。
- 檀信徒・門徒にお寺の近くに引っ越してもらうことはできないが、常日頃から檀信徒・門徒と「家族の負担と思うこと」などの会話は必要ではないだろうか。

お墓を移動したい/移動した理由（Q13）

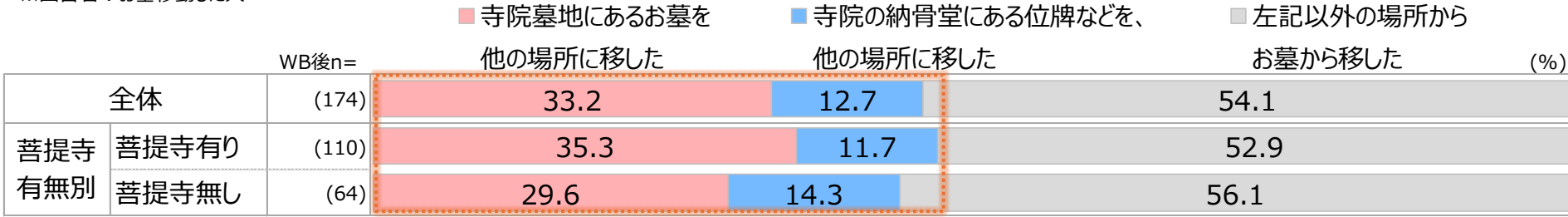
※回答者：移動意向ある人/お墓移動した人



※全体スコアの降順にソート

どのようなお墓から移動したのか（Q15）

※回答者：お墓移動した人



4. 合祀・合葬について

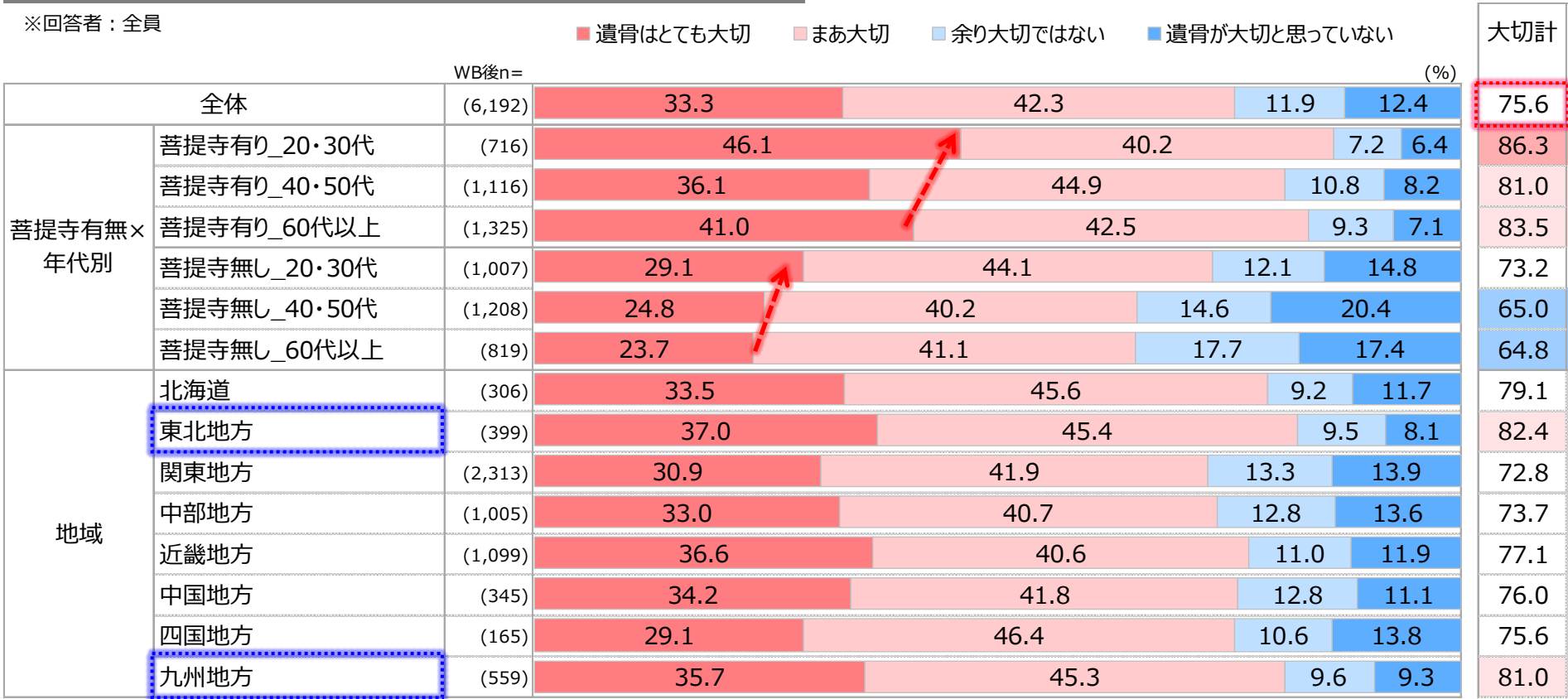
4-1.遺骨に対する思い

遺骨は大切と考える人は75.6%。若い世代ほど遺骨を大切に思う比率が高い傾向。

- 遺骨を大切に考えている人は菩提寺無し層よりも菩提寺有り層の比率が高く、年代が高い人よりも年代が低い人が比率が高い。
- 地域的な格差でみると東北地方、九州地方は遺骨を大切に思う比率が高く、関東地方の比率が若干低い。

遺骨に対してどのような思いを持つか（Q19）

※回答者：全員



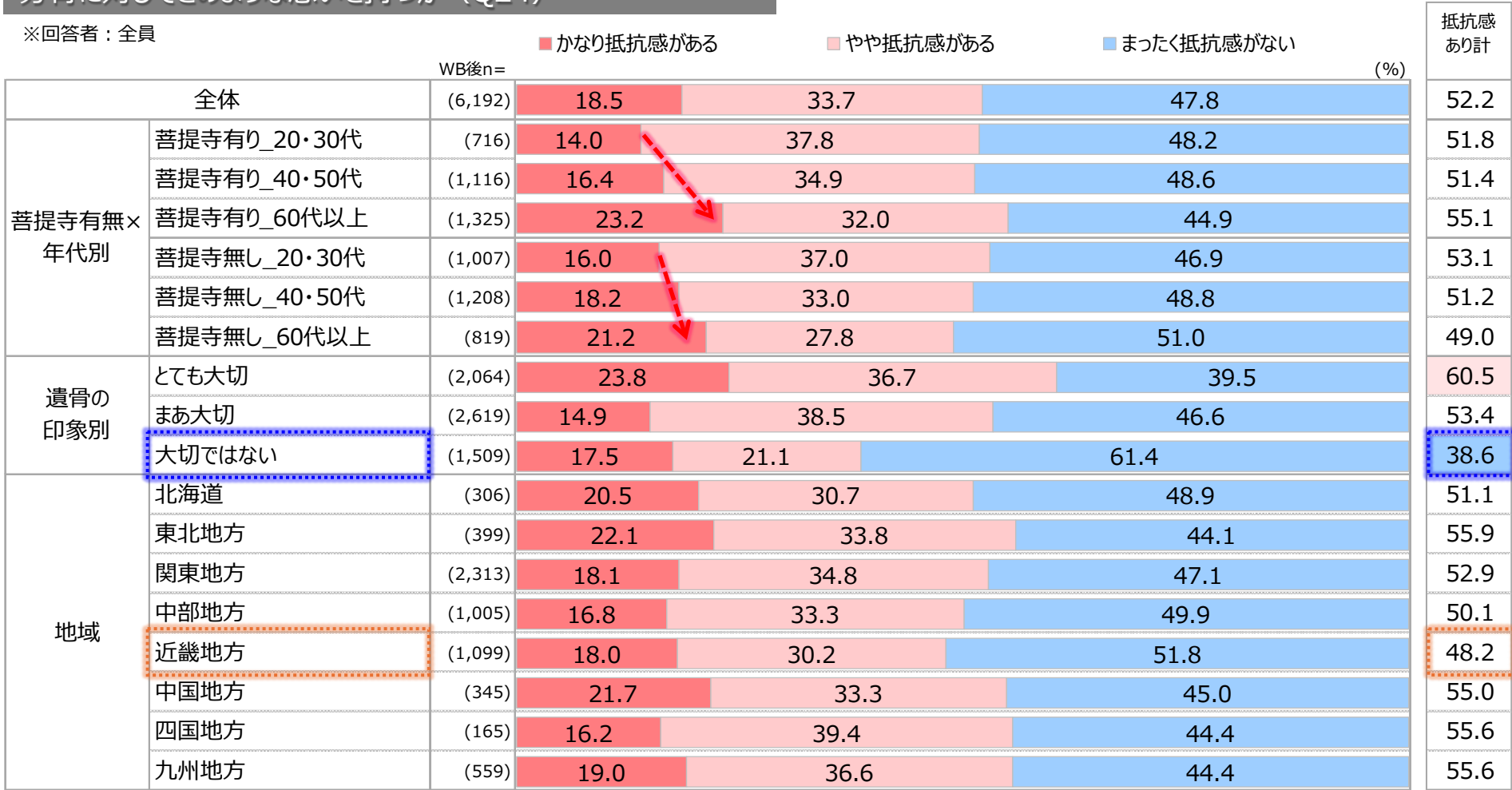
4-2.分骨に対する思い

分骨に抵抗感がある人と抵抗感が無い人の割合は半々。

- 年代が高くなるにつれ「かなり抵抗感がある」比率が高まる。
- 遺骨を大切に考えていない人ほど分骨に対して抵抗感が低い傾向が窺える。
- 地域間の格差は年代によるばらつきほど大きくはないが、近畿地方が分骨に対して「抵抗感がある」比率が48.2%と他地方より若干低い。

分骨に対してどのような思いを持つか（Q24）

※回答者：全員



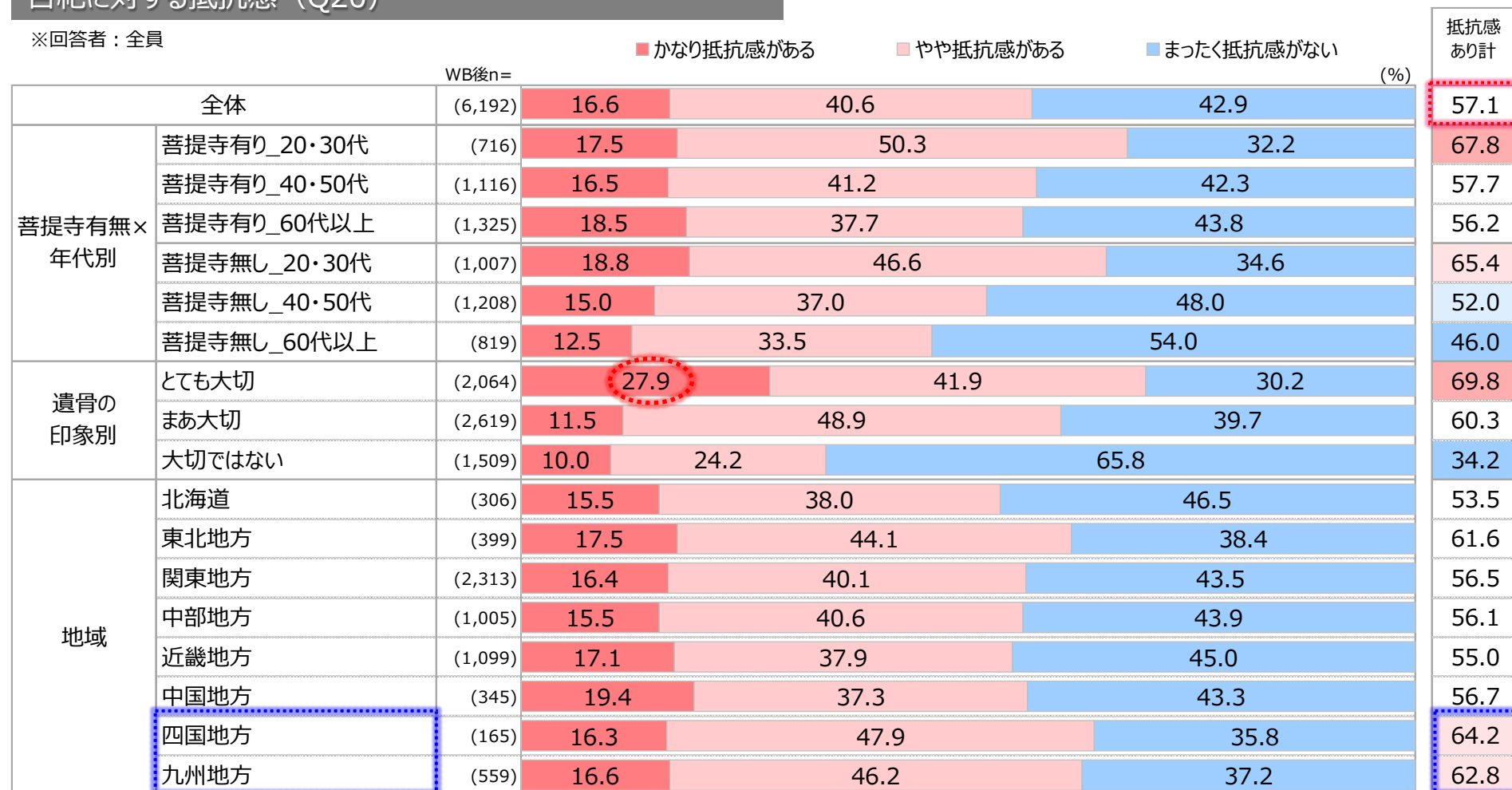
4-3.合祀に対する抵抗感

合祀に抵抗がある人は57.1%と半数を超える。特に遺骨をととても大切に思う層では27.9%が「かなり抵抗感がある」と考えている。

- 年代が高くなるにつれ「まったく抵抗感がない」比率が高まる。
- 「遺骨を大切に考えていない人」ほど合祀に対しての抵抗感がないことが窺える。
- 地域間の格差は年代によるばらつきほど大きくはないが、四国地方、九州地方で「抵抗感あり」比率が64.2%、62.8%と他の地方より若干高い。

合祀に対する抵抗感 (Q20)

※回答者：全員



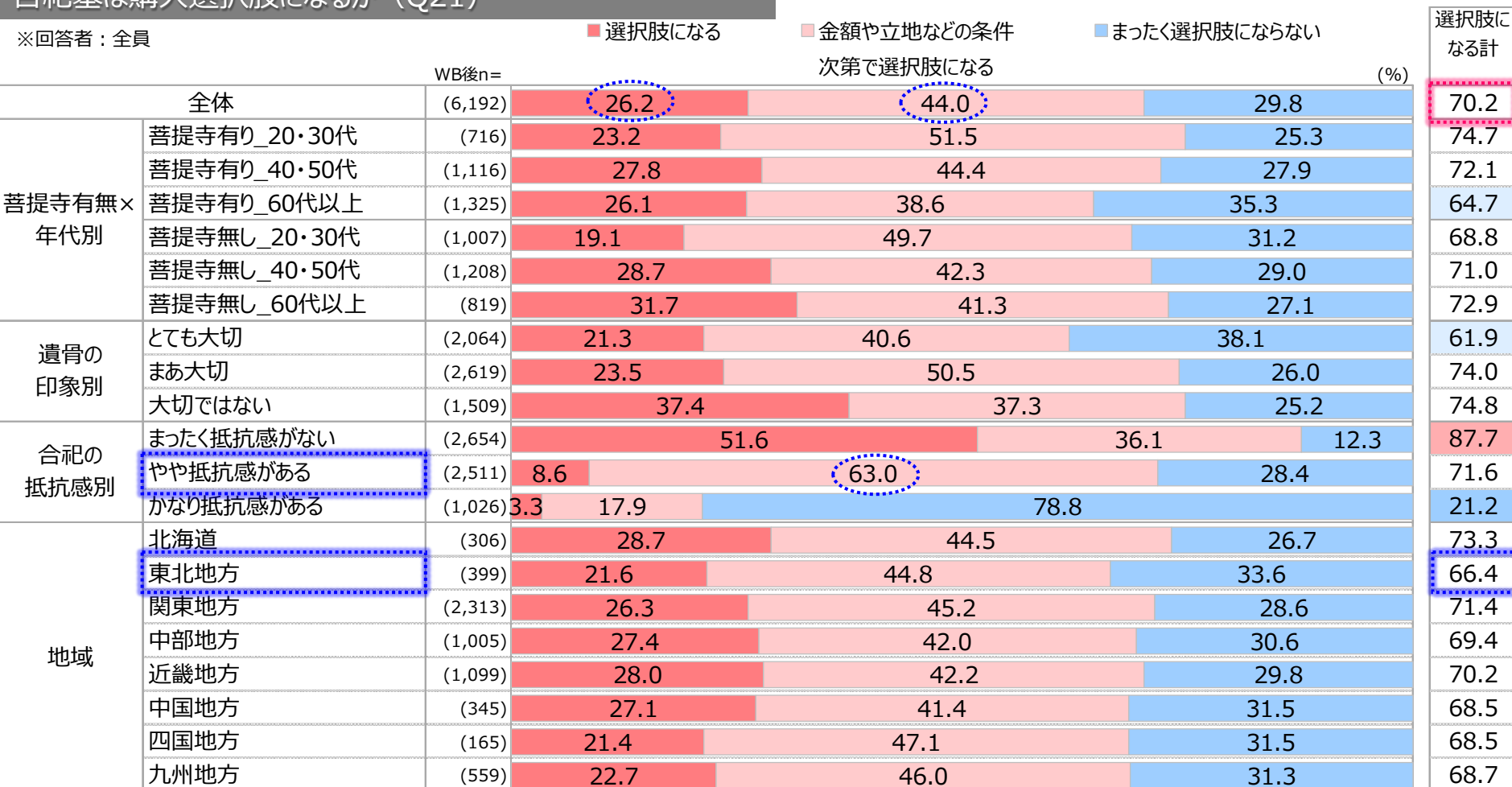
4-4.合祀墓の購入意向

「合祀墓が購入の選択肢になる」人の比率は70.2%。

- 全体で合祀墓の購入が「選択肢になる」人は26.2%、「金額や立地などの条件次第で選択肢になる」人は44.0%。
- 合祀に対して「やや抵抗感がある」人でも「金額や立地など条件次第で選択肢になる」と考えるのは63.0%と高い比率。
- 地域では東北地方で「選択肢になる」との回答が66.4%と他地域よりも若干低い。

合祀墓は購入選択肢になるか (Q21)

※回答者：全員



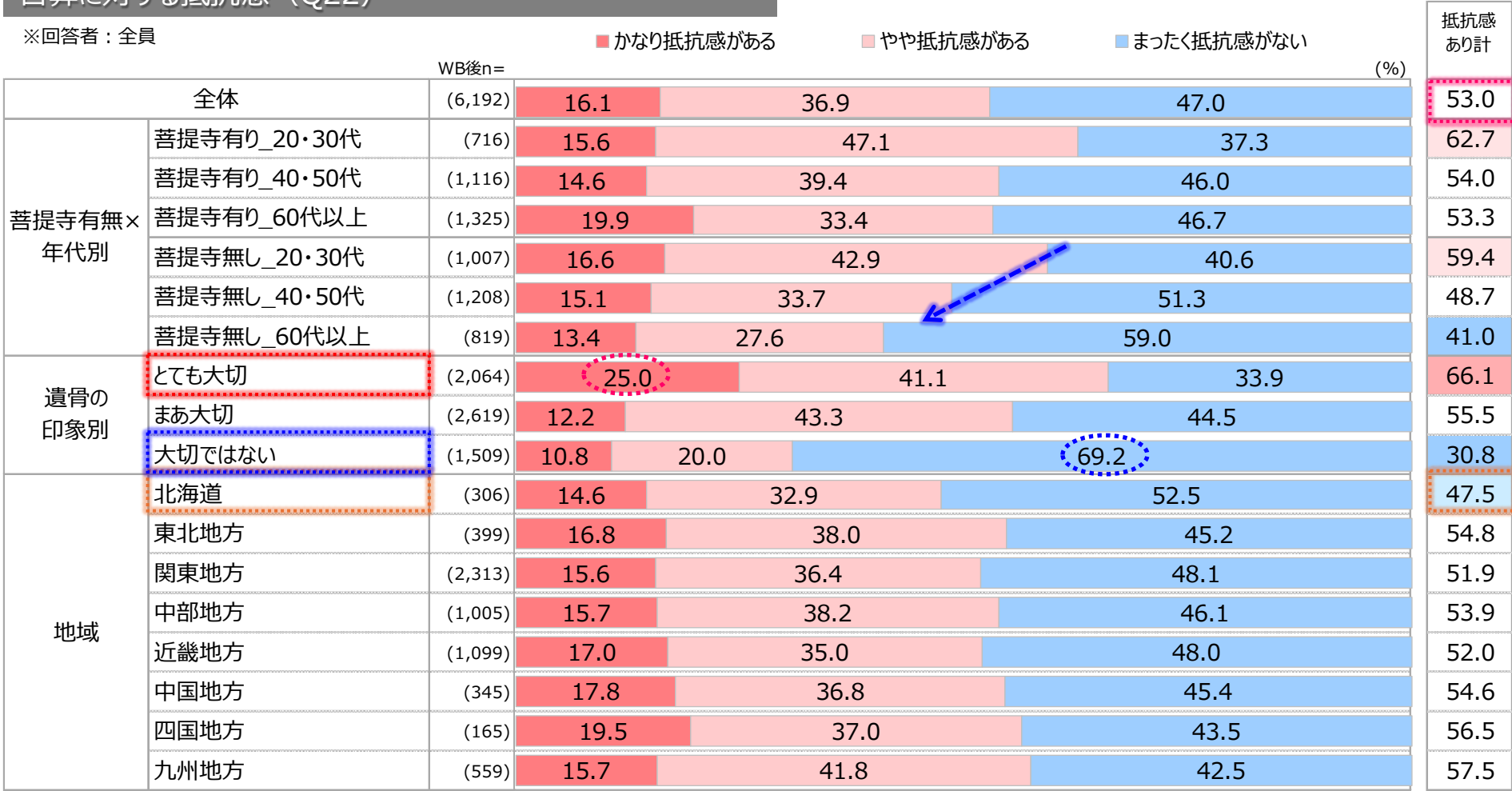
4-5.合葬に対する抵抗感

「合葬に抵抗を持つ人」は全体の53.0%と半数を超える。特に遺骨をととても大切に思う層は25.0%が「かなり抵抗感がある」と考えている。

- 菩提寺無し層では、年代が高くなるにつれ「まったく抵抗感がない」比率が高まる。
- 遺骨を大切に考えていない人ほど合葬に対しての抵抗感がないことが窺える。
- 合葬に対する抵抗感を地域でみると、北海道が「抵抗感あり計」47.5%と低いことがわかる。

合葬に対する抵抗感（Q22）

※回答者：全員



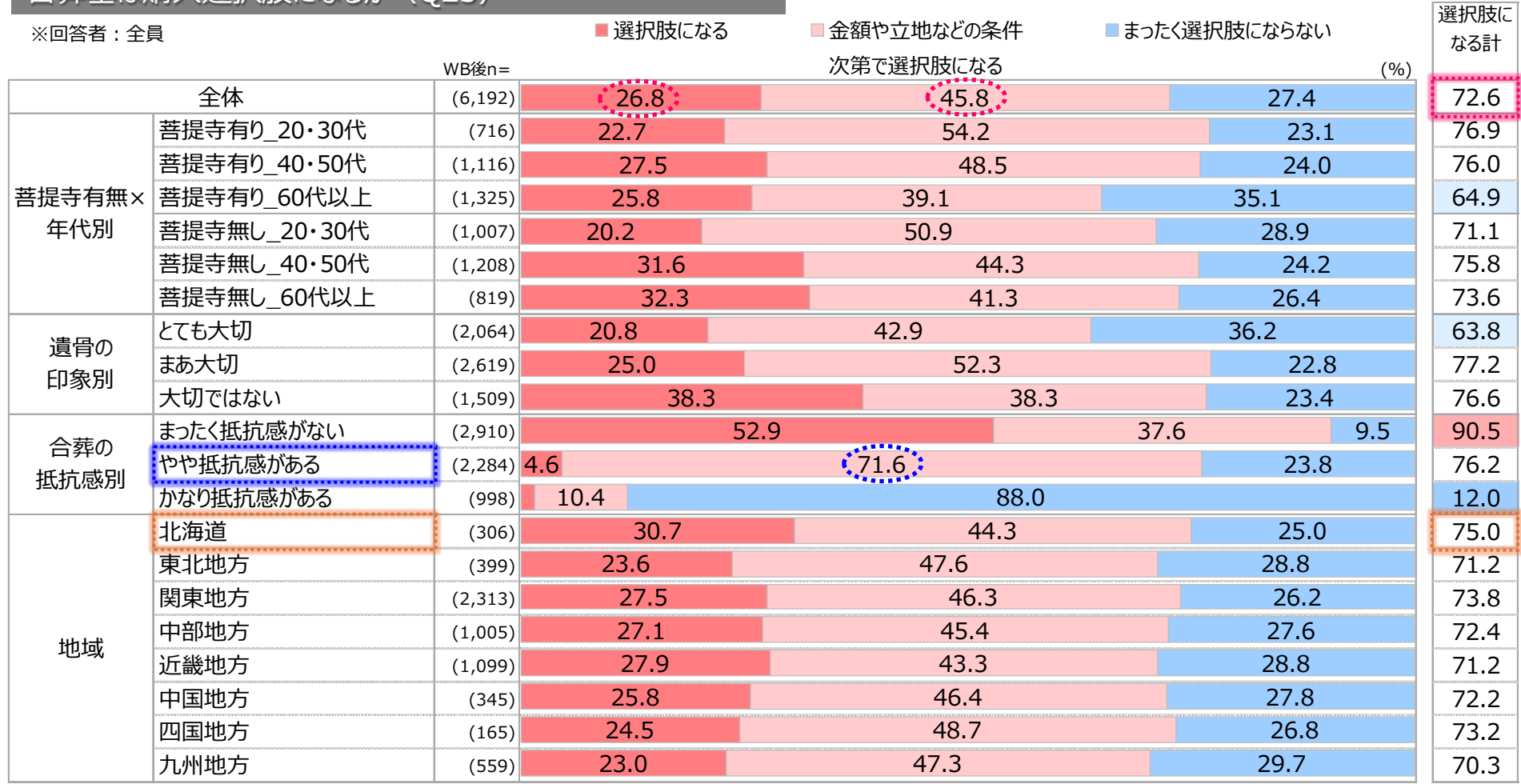
4-6.合葬墓の購入意向

合葬のお墓が「購入の選択肢になる」人は72.6%。

- 合祀墓の購入が「選択肢になる」26.8%、「金額や立地などの条件次第で選択肢になる」45.8%。
- 合葬に対して「やや抵抗感がある」人でも71.6%と高い比率で「条件次第でお墓の購入選択肢の一つになる人」と考えることが分かる。
- 地域では北海道が「選択肢になる計」75.0%と他地域よりも若干高い。

合葬墓は購入選択肢になるか（Q23）

※回答者：全員



2%未満のスコアラベルは非表示

5. お寺の復興支援について

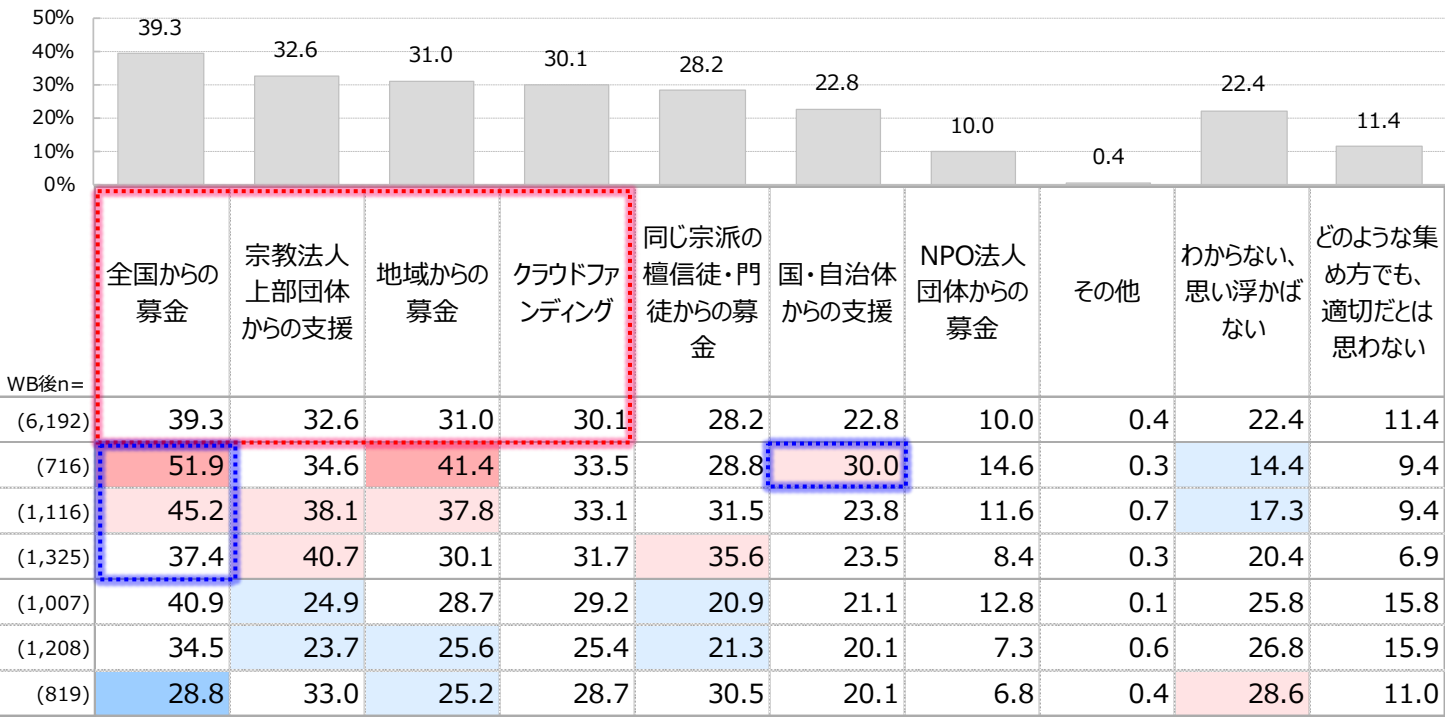
5-1.お寺の復興資金の集め方

寺院・神社の復興資金の集め方としては「全国から」「宗教法人上部団体から」「地域から」「クラウドファンディング」が上位に並ぶ。

■ 年代が若いほど「全国/地域からの募金」が適切と考えている人が多く、菩提寺有り層の20・30代では「国や自治体からの支援」も30.0%と高い。

寺院・神社の復興資金をどう集めたら良いか（Q25）

※回答者：全員



※全体スコアの降順にソート

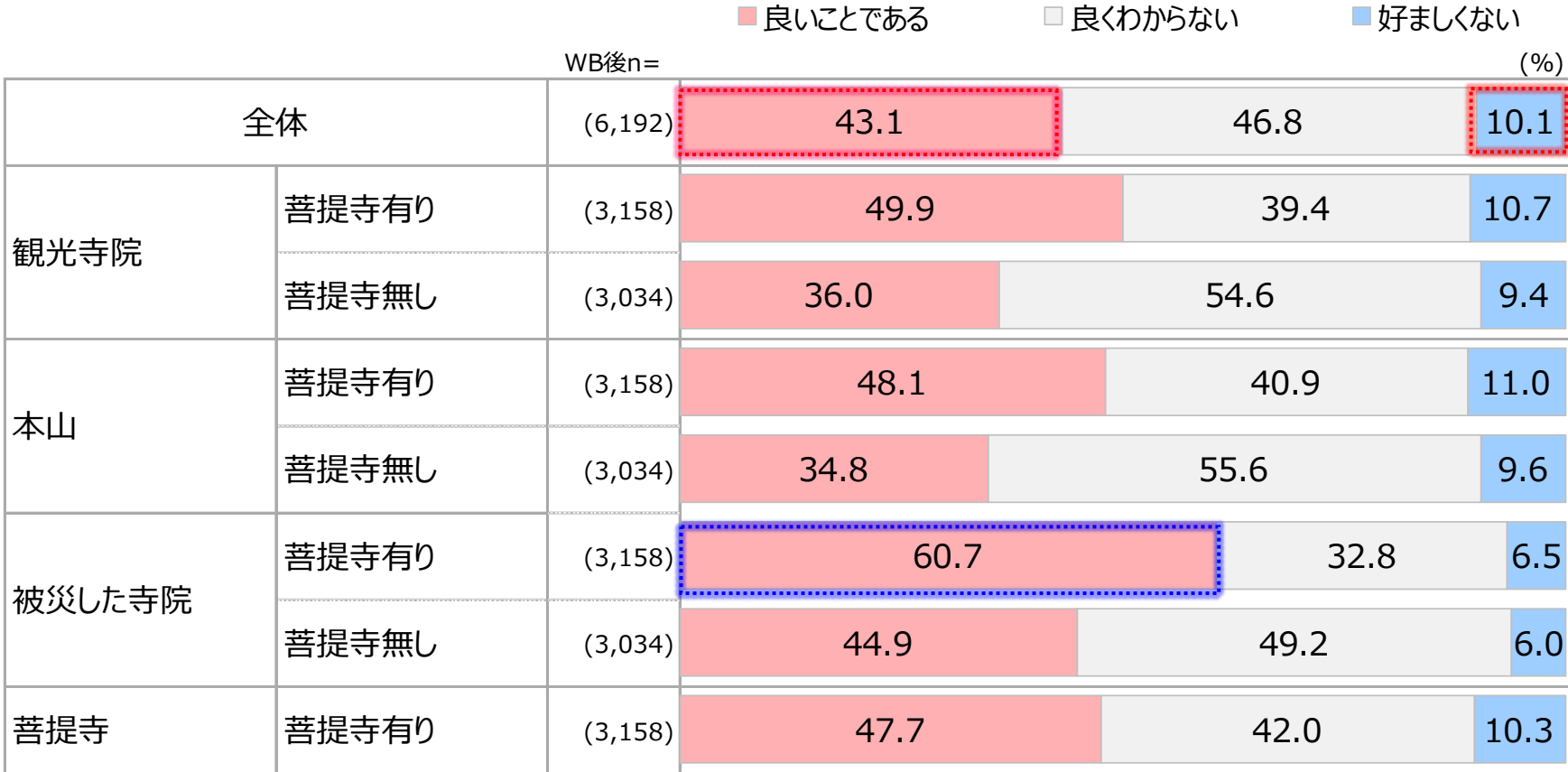
5-2.お寺のクラウドファンディング

お寺がクラウドファンディングを行うことに関して43.1%が肯定的と回答、否定的な回答は10.1%に留まる。

■ 被災した寺院がクラウドファンディングを行うことに関して菩提寺有り層では60.7%、菩提寺無し層でも44.9%と高い水準で肯定的に受け止められている。

お寺がクラウドファンディングに取り組むことをどう思うか（Q26）

※回答者：全員



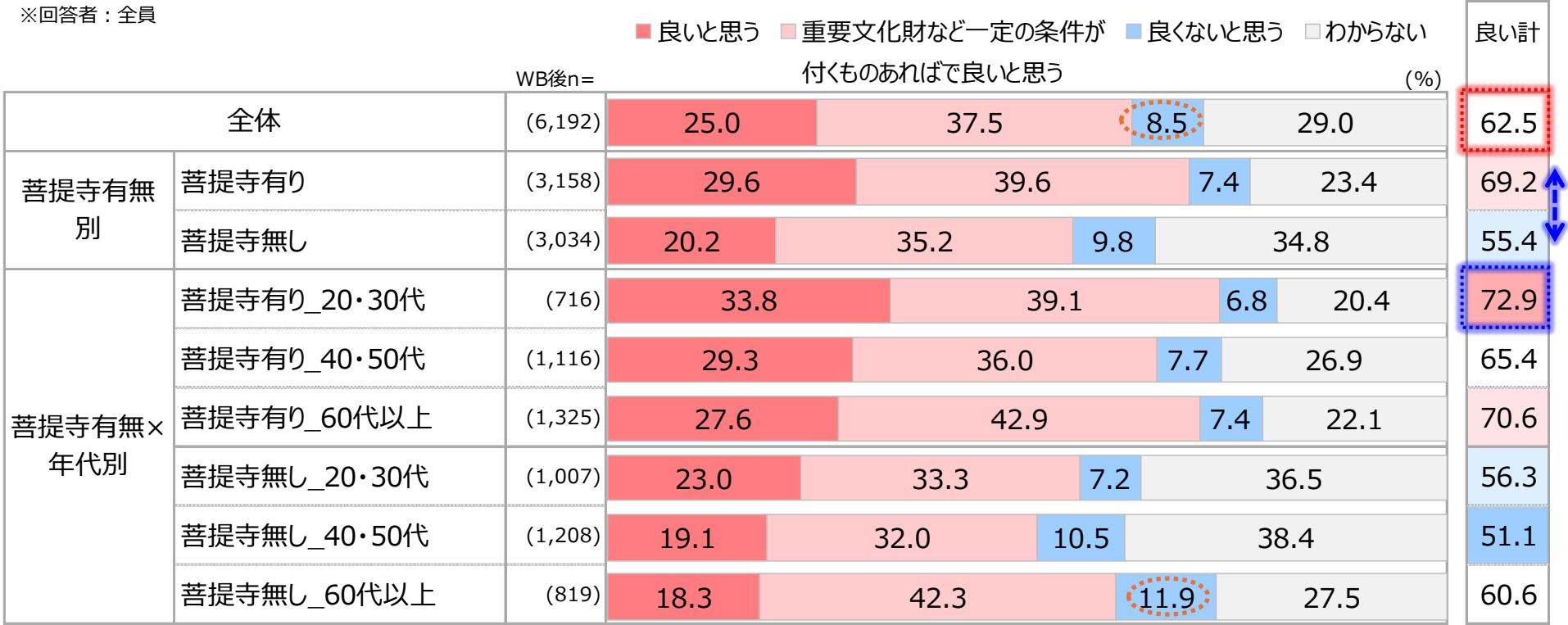
5-3.被災した宗教施設への公的資金投入①

被災した宗教施設を公的資金で復興することについては62.5%が容認している。

- 特に菩提寺有り層は、無し層に比べて「良い」と考える比率が高い。また、菩提寺有り層の20・30代では72.9%と「良い」と考える比率が高い。
- 「良くないと思う」比率は全体で8.5%、菩提寺無し層60代以上の11.9%が最大である。この数値からは宗教施設の復興に公的資金を使うことに関して否定的な考えを持つ人はかなり少ないと想定される。

被災した宗教施設を公的な資金で復興することへの印象（Q28）

※回答者：全員



5-4.被災した宗教施設への公的資金投入②

被災した宗教施設の復興は公的資金対象外であることを認知している人は14.0%。

- 公的資金対象外との認知について、菩提寺有り層で19.1%、菩提寺無し層で8.8%と格差が表われている。
- 特に認知度が高いのは菩提寺有り層の都心20・30代で30.7%となっている。この層は宗教施設の復興に公的資金を使うことを良いとの比率が一番高い層である。

宗教施設の復興は公的資金の対象外との認知（Q27）

※回答者：全員

■ 知っている

■ 聞いたことはある

□ 知らない

認知計

		WB後n=				(%)	認知計
全体		(6,192)	4.7	9.4		86.0	14.0
菩提寺有無別	菩提寺有り	(3,158)	6.7	12.4		80.9	19.1
	菩提寺無し	(3,034)		6.2		91.2	8.8
菩提寺有無 × 都心・地方 × 年代別	菩提寺有り_都心_20・30代	(341)	11.2	19.5		69.3	30.7
	菩提寺有り_都心_40・50代	(538)	5.1	12.1		82.8	17.2
	菩提寺有り_都心_60代以上	(713)	5.7	10.8		83.6	16.4
	菩提寺有り_地方_20・30代	(376)	8.1	13.4		78.5	21.5
	菩提寺有り_地方_40・50代	(578)	6.1	10.8		83.2	16.8
	菩提寺有り_地方_60代以上	(612)	6.4	11.5		82.1	17.9
	菩提寺無し_都心_20・30代	(566)		6.9		91.0	9.0
	菩提寺無し_都心_40・50代	(742)	3.7	4.3		92.0	8.0
	菩提寺無し_都心_60代以上	(567)	3.1	6.6		90.2	9.8
	菩提寺無し_地方_20・30代	(441)		6.0		91.7	8.3
	菩提寺無し_地方_40・50代	(466)		6.1		91.7	8.3
	菩提寺無し_地方_60代以上	(251)		9.6		89.2	10.8
仏教への 関心別	関心あり	(959)	11.5	17.3		71.2	28.8
	中庸	(1,835)	4.0	10.4		85.5	14.5
	関心なし	(3,398)	3.1	6.5		90.4	9.6

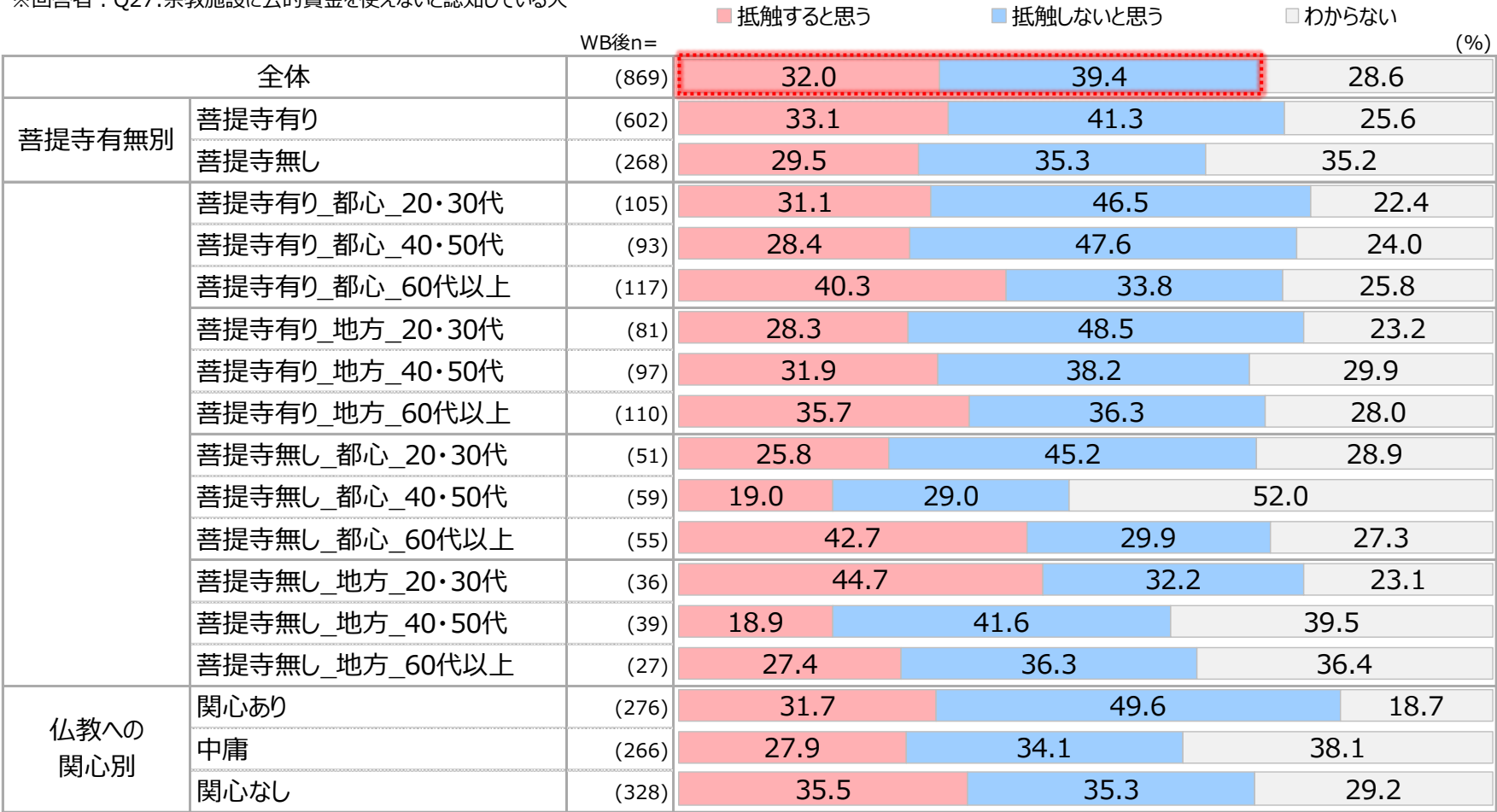
3%未満のスコアは非表示

お寺の復興に公的資金を使うことは「政教分離」に抵触しないと思う比率が、抵触すると思う比率より高く表れた。

- 宗教施設の復興に公的資金を使うことが出来ないことを知っている人を条件として、政教分離に抵触するか否かを分析したところ、「抵触すると思う」人32.0%、「抵触しないと思う」人が39.4%となった。

被災寺院を公的資金で復興することは「政教分離」に抵触すると思うか（Q29）

※回答者：Q27:宗教施設に公的資金を使えないと認知している人



お寺で取り組むべき社会貢献活動は「災害時の避難場所」「伝統文化・芸術の保存」「地域コミュニティの場の提供」が上位。

- 「災害時の避難場所」、「地域コミュニティへの場の提供」、「地域のお祭り」と、お寺は地域への社会貢献を求められていることが窺える。
- まずは自坊で出来る社会貢献から始めていくことで地域コミュニティに存在感を与えることが肝要。

お寺で取り組むべきと思う社会貢献活動（Q38）

※回答者：全員

菩提寺有り				
	WB後n=	是非寺院で取り組む ことと思う	寺院で取り組まなく ても良いと思う	寺院で取り組む べきではない (%)
災害時の避難場所	(3,158)	60.8	32.3	6.9
伝統文化・芸術の保存	(3,158)	57.1	35.8	7.2
地域コミュニティへの場の提供	(3,158)	54.6	37.6	7.8
地域のお祭り	(3,158)	54.6	37.6	7.7
終活の支援	(3,158)	46.5	44.6	8.9
災害復興支援	(3,158)	44.3	46.9	8.8
学習支援	(3,158)	42.8	47.5	9.7
子ども食堂	(3,158)	40.9	48.6	10.4
生活困窮者の支援	(3,158)	40.3	48.7	11.1
幼稚園・保育園	(3,158)	38.9	50.6	10.5
社会貢献団体への寄付	(3,158)	34.0	53.3	12.7
国際貢献	(3,158)	32.6	54.0	13.4
老人福祉施設	(3,158)	32.2	54.6	13.2
社会貢献債券投資	(3,158)	23.3	58.6	18.1

※「菩提寺あり／寺院で取り組むことと思う」の降順にソート

菩提寺無し				
	WB後n=	是非寺院で取り組む ことと思う	寺院で取り組まなく ても良いと思う	寺院で取り組む べきではない (%)
	(3,034)	50.5	39.5	10.1
	(3,034)	48.7	41.3	10.0
	(3,034)	45.2	44.4	10.4
	(3,034)	48.0	42.5	9.4
	(3,034)	40.1	48.0	11.9
	(3,034)	35.4	52.8	11.8
	(3,034)	35.1	52.4	12.5
	(3,034)	35.1	52.8	12.1
	(3,034)	33.5	53.4	13.1
	(3,034)	29.1	56.9	13.9
	(3,034)	29.0	56.4	14.5
	(3,034)	28.9	55.7	15.4
	(3,034)	26.8	58.3	14.9
	(3,034)	20.1	61.4	18.5

6. 仏教寺院における女性活躍について

6-1. 仏教寺院における女性活躍

仏教寺院において女性が活躍していると思う割合は14.1%と低い状況。

- 女性が活躍していると思う属性は仏教に関心を持っている層で34.3%、菩提寺有り層の男性が20%と比較的高いが、それ以外の属性ではかなり低い。
- 本報告書には記載していないが、調査結果では「神社」23%、「教会」が25%となっており、仏教寺院の低さが目立った。

仏教寺院における女性活躍について（Q30S1）

※回答者：全員

		WB後n=	かなり活躍 している	まあ活躍 している	どちらでもない	あまり活躍 していない	まったく活躍 していない	活躍計
全体		(6,192)	11.9	43.5		27.9	14.5	14.1
菩提寺有無 × 性別	菩提寺有り男性	(1,648)	4.0	16.4	42.1	28.0	9.6	20.4
	菩提寺有り女性	(1,510)	16.6	35.6		32.0	13.4	19.0
	菩提寺無し男性	(1,396)	9.0	51.5		23.1	15.6	9.8
	菩提寺無し女性	(1,638)	5.7	45.3		28.1	19.7	6.9
仏教への 関心別	関心あり	(959)	7.3	27.0	30.7	27.8	7.3	34.3
	中庸	(1,835)	11.3	53.2		23.9	10.1	12.8
	関心なし	(3,398)	8.0	41.8		30.1	18.9	9.1
信仰別	仏教信者	(2,060)	3.9	20.1	36.9	29.2	9.9	24.0

3%未満のスコアラベルは非表示

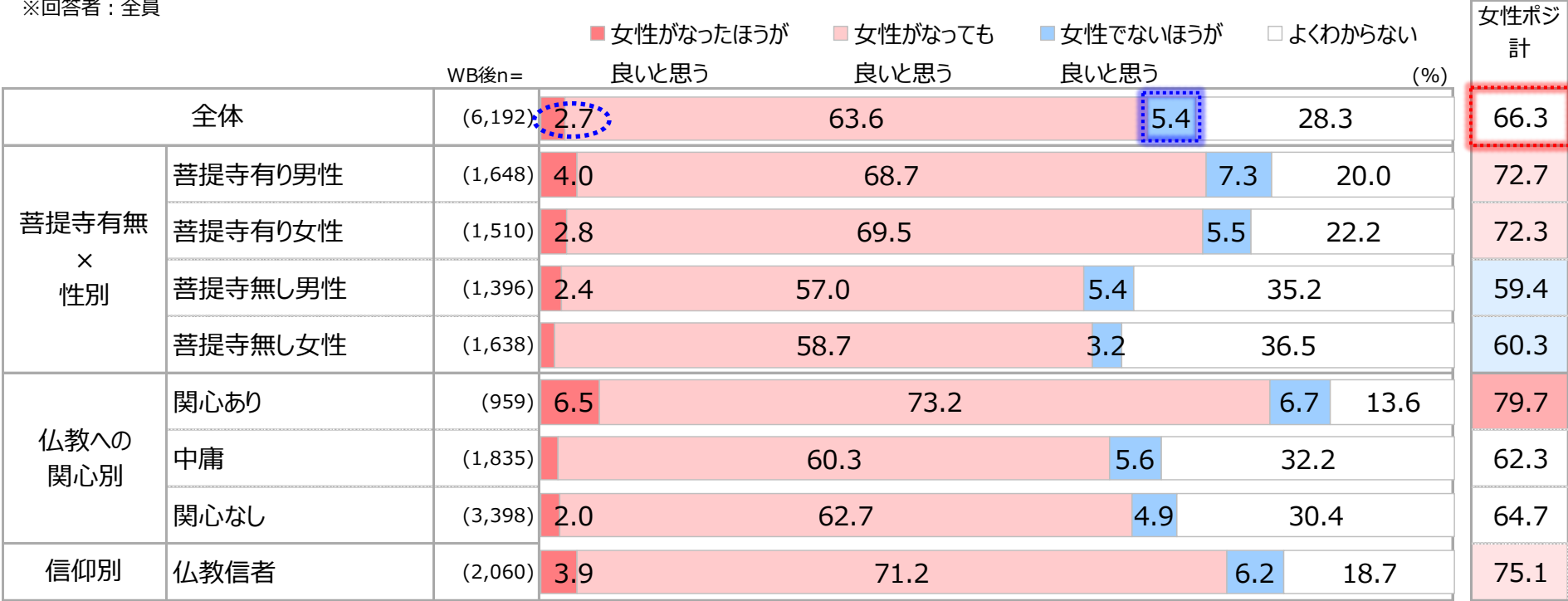
6-2.女性が仏教寺院の長になること

女性が仏教寺院の長になることに対しては66.3%が肯定的に捉えている。

- 「女性がなったほうが良いと思う」という強い肯定は2.7%と低いものの、「女性になっても良いと思う」と合わせると66.3%まで高まる。
- 「女性でないほうが良いと思う」という否定的な意見は5.4%とかなり低い水準であることから女性への期待感が窺える。
- 企業をはじめ女性活躍がうたわれている中、世間一般の常識に対して、仏教寺院は檀信徒・門徒の期待に応えられていない構図も浮かびあがる。

女性が仏教寺院の長（住職）になることについて（Q31S1）

※回答者：全員



3%未満のスコアラベルは非表示

仏教寺院には「女性が活躍できる環境がある」と思う人は21.4%に留まる。

- 仏教寺院の長に女性になることに66.3%（6-2参照）の人が肯定的であったが、活躍できる環境にあると思う人は21.4%に過ぎない。
- この数値の格差は、女性が仏教寺院で活躍することを期待はしているものの、現実は無理ではないかというギャップを感じていることから来ているのではないかと想定される。

仏教寺院で女性が活躍できる環境があると思うか（Q33S1）

※回答者：全員

		WB後n=	かなりある と思う	まあある と思う	どちらでも ない	少し不足して いると思う	かなり不足して いると思う	わからない (%)	女性活躍 の環境 あり
全体		(6,192)	3.7	17.8	23.2	13.9	16.8	24.7	21.4
菩提寺有無 × 性別	菩提寺有り男性	(1,648)	5.5	23.5	25.7	15.2	14.6	15.6	29.0
	菩提寺有り女性	(1,510)	5.3	20.4	18.1	15.9	20.5	19.8	25.6
	菩提寺無し男性	(1,396)		11.5	28.9	12.4	14.3	30.6	13.8
	菩提寺無し女性	(1,638)		14.9	20.7	11.9	17.6	33.4	16.4
仏教への 関心別	関心あり	(959)	8.4	30.7	18.3	15.7	16.8	10.2	39.1
	中庸	(1,835)		17.2	30.4	13.5	13.3	23.1	19.7
	関心なし	(3,398)		14.4	20.7	13.5	18.7	29.7	17.4
信仰別	仏教信者	(2,060)	6.0	25.0	22.3	14.7	17.5	14.6	30.9

3%未満のスコアラベルは非表示

7. お寺を取り巻く課題（AI倫理、拝観料）

7-1.僧侶とAIは悩みを解決してくれるか

「僧侶」や「AI」が悩みを解決してくれることには期待していない人の方が多い。

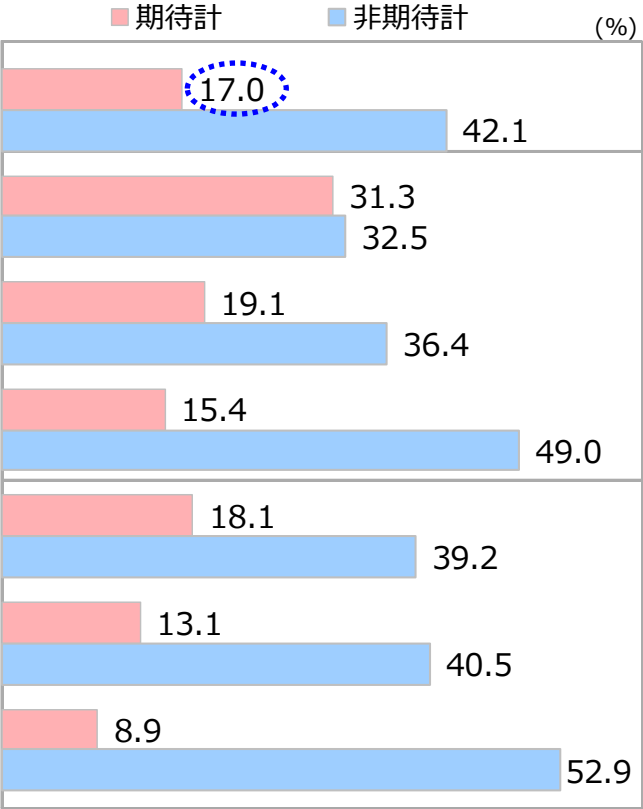
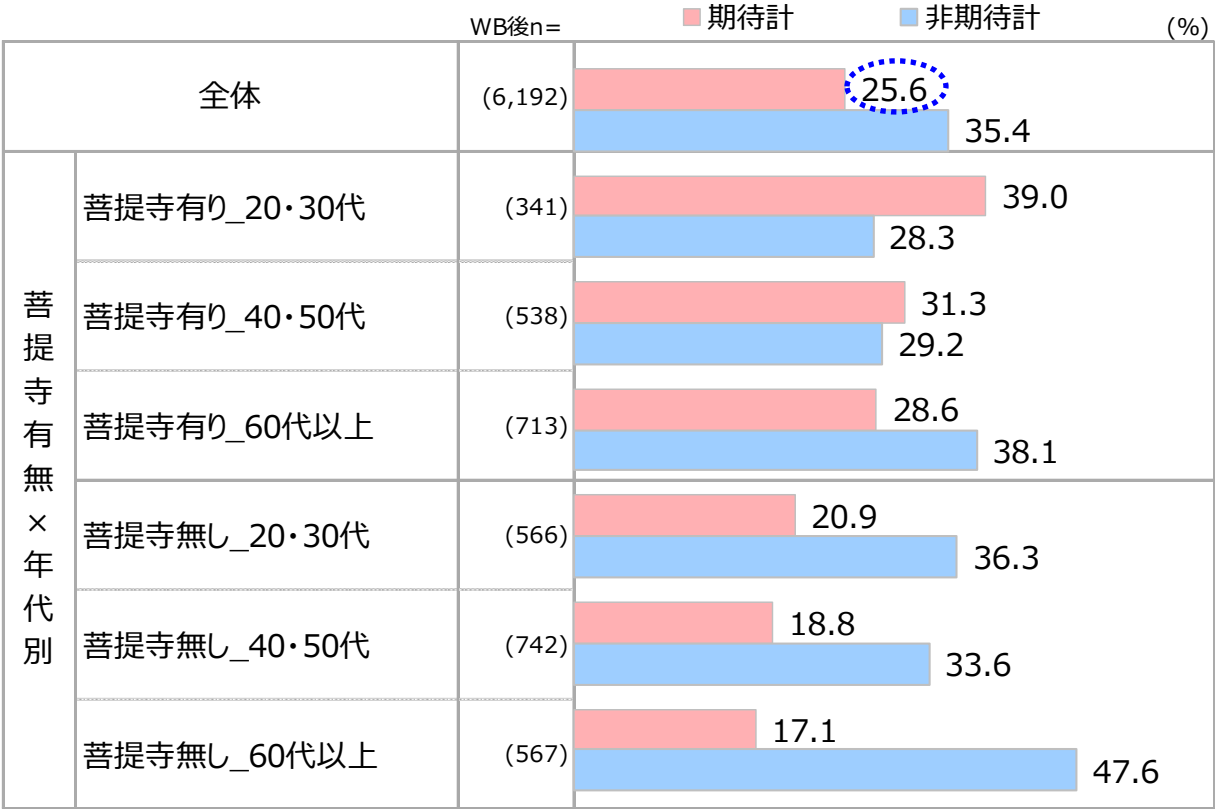
- 「僧侶」が悩みを解決してくれることに対する期待度は25.6%、「AI」が悩みを解決することに対する期待度は17.0%でいずれも非期待度の方が比率が高い。若干「僧侶」の期待が高い。
- 菩提寺有り層は無し層に比べて期待度が高く、年代が若いほど高くなる傾向が窺える。

悩みを解決することに期待している（Q34）

※回答者：全員

「僧侶」が悩みを解決

「AI」が悩みを解決



7-2.宗教界のAI倫理策定への関与

宗教界のAI倫理策定への関与は31.6%が必要と回答しているが、不要との回答も26.6%。

- 菩提寺有り層は無し層に比べ「必要」と考えている割合が高く、菩提寺有り60代以上では42.4%となっている。
- 菩提寺の有り、無しにかかわらず、年代が若いほど「不要」との意識が高い傾向が窺える。
- 今後のAI開発に倫理策定は重要課題である。宗教界の方向性を打ち出していく重要な時期に差し掛かっているのではないかとと思われる。

AI開発の倫理策定への宗教界の関与につて（Q35）

※回答者：全員

			WB後n= (%)					必要計	不要計
			■ かなり必要と思う	■ まあ必要と思う	■ どちらともいえない	■ あまり必要ないと思う	■ まったく必要ないと思う		
全体		(6,192)	8.6	23.0	41.8	12.9	13.7	31.6	26.6
菩提寺有無別	菩提寺有り	(3,158)	10.5	27.4	38.6	12.4	11.1	37.9	23.5
	菩提寺無し	(3,034)	6.6	18.4	45.2	13.5	16.3	25.0	29.8
菩提寺有無 × 年代別	菩提寺有り20・30代	(716)	8.5	28.9	36.1	13.9	12.5	37.4	26.4
	菩提寺有り40・50代	(1,116)	7.7	25.2	44.1	11.1	12.0	32.8	23.1
	菩提寺有り60代以上	(1,325)	13.9	28.5	35.3	12.6	9.7	42.4	22.3
	菩提寺無し20・30代	(1,007)	3.5	18.4	44.2	15.7	18.2	21.9	33.9
	菩提寺無し40・50代	(1,208)	4.9	16.2	49.3	11.8	17.8	21.1	29.6
	菩提寺無し60代以上	(819)	13.1	21.5	40.4	13.3	11.7	34.6	25.0
仏教信仰者		(2,060)	11.9	28.7	36.3	12.2	11.0	40.5	23.2

7-3. 拝観料の納得性

拝観料を納めることについては46.6%が容認している。また菩提寺の有無で否定的な反応について大きな格差は生じていない。

- 高すぎなければ拝観料を納めても良いと思う人が菩提寺有り層では50%近い。「高すぎない」という水準は検討の余地がある。
- 菩提寺無し層は「どちらともいえない」比率が高い。上記の通り、お寺での拝観料に対する納得性を高める行動が併せて必要と想定される。

拝観料を納めることへの印象（Q49）

※回答者：全員

■ 拝観料は納めるべきだと思う ■ あまり高すぎなければ、納めても良いと思う ■ どちらともいえない ■ できるかぎり納めない方が良いと思う ■ 拝観料は納めるべきではないと思う

WB後n= (%)

		WB後n=						拝観料支払いポジ	拝観料支払いネガ
全体		(6,192)	5.2	41.4	37.2	9.8	6.5	46.6	16.2
菩提寺有無×年代別	菩提寺有り_20・30代	(716)	5.9	46.7	33.9	9.1	4.4	52.6	13.5
	菩提寺有り_40・50代	(1,116)	5.5	43.2	37.4	8.2	5.7	48.7	13.9
	菩提寺有り_60代以上	(1,325)	5.7	47.9	27.7	12.3	6.4	53.6	18.7
	菩提寺無し_20・30代	(1,007)	3.4	34.4	49.1	7.4	5.7	37.8	13.1
	菩提寺無し_40・50代	(1,208)	4.7	34.4	43.5	9.6	7.8	39.1	17.4
	菩提寺無し_60代以上	(819)	6.1	43.0	31.1	11.4	8.4	49.1	19.8

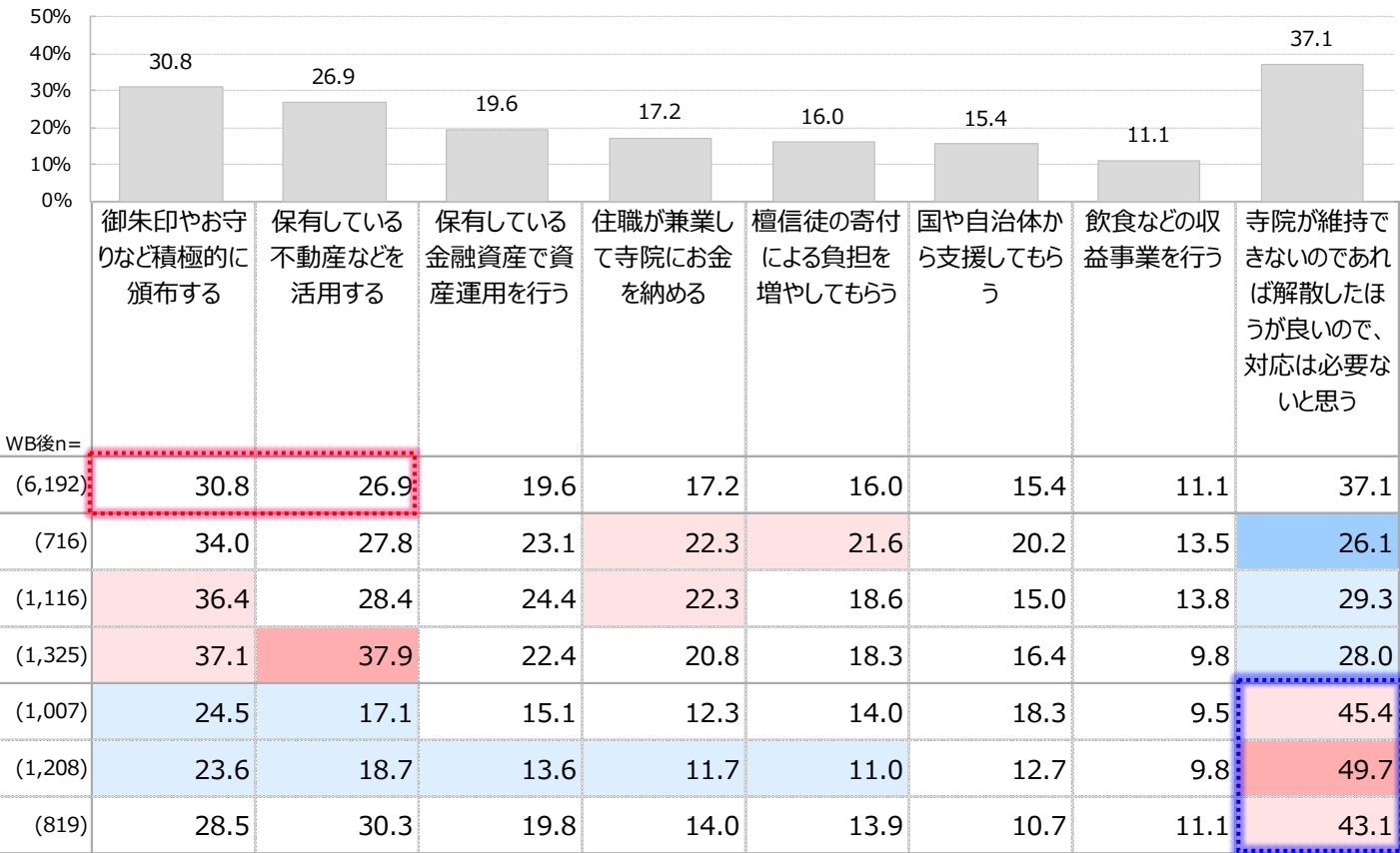
7-4.お寺の収入を増やすために必要と思うこと

お寺の収入を増やすためには「御朱印やお守りを積極的に頒布する」「保有不動産を活用する」など一般の人は考えている。

- 菩提寺無し層は「寺院が維持できないのであれば、解散したほうが良いので、対応は必要ない」との厳しい考えを持つ人が40%を超えている。
- 寺院の解散、すなわち寺院不要と考えられてしまう要因の一つには、菩提寺や観光寺院など特定のお寺以外については、お寺の存在意義を感じていないことがあるのではないかと。

寺院が収入を増やすために必要と思うこと（Q36）

※回答者：全員



※全体スコアの降順にソート

〒105-0011

東京都港区芝公園4-7-4

公益財団法人 全日本仏教会

広報文化部 kouho@jbf.ne.jp

〒100-6752

東京都千代田区丸の内1丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー

大和証券株式会社

法人コンサルティング部 法人サポート課

1.0版	2025年3月31日
2.0版	2025年4月22日
2.1版	2025年4月23日

